

「教育にイノベーション」
を興すとは
どういうことか？



マネジメントのために必要な資源

ヒト

モノ

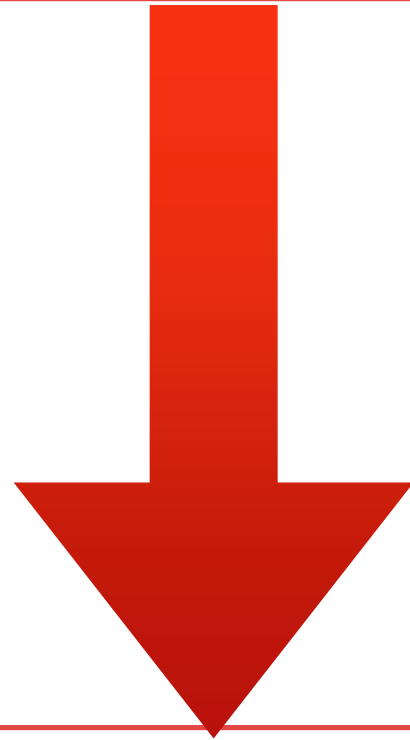
カネ

情報

誰でも無限の可能性可能性を持っている。

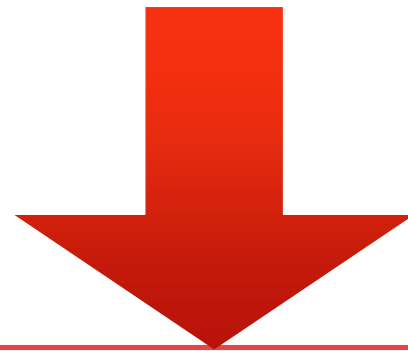
一人一人の潜在能力を可能性の限界まで開発するのが、教育である。

誰でも無限の可能性を
持っている。



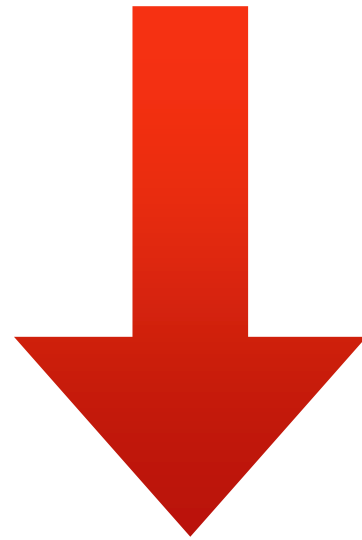
「一人一人の潜在能力を可能性の限界まで開発する。」

安城学園の教育上の課題
現代社会の中で人々が直面する現実の課題を適切にかつ実践的に解決する能力を身に付けて、地域に貢献できる人材をを育成する。



学校法人の教育の3本柱

学校法人の教育の3本柱

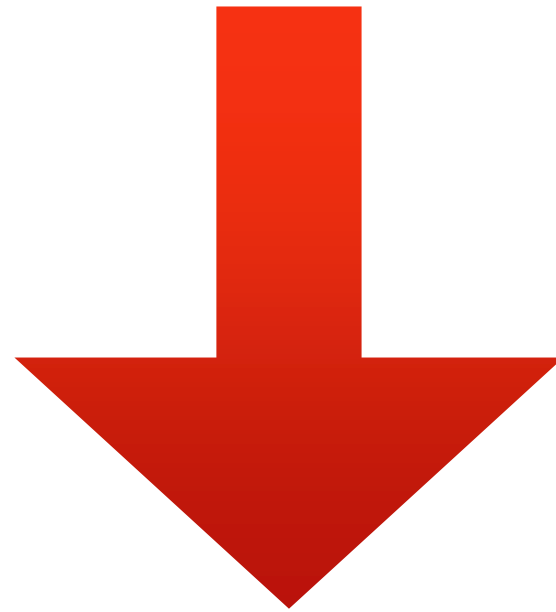


建学の精神を核にした教育

社会人基礎力を核にした教育

PISA型学力を核にした教育

建学の精神を核にした教育



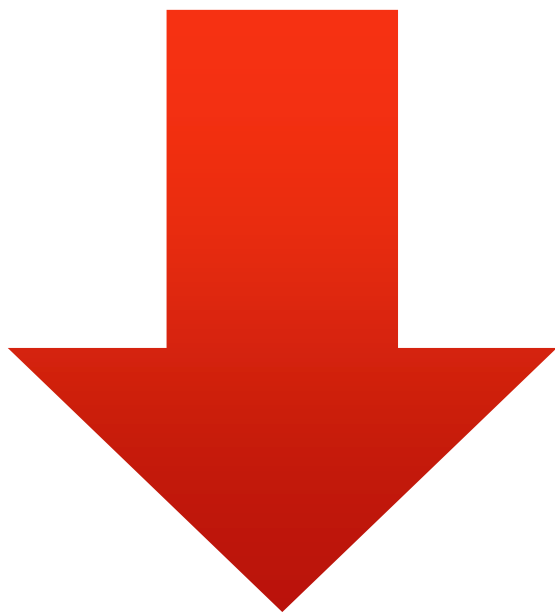
真	努	奉	感
心	力	仕	謝

真
心

努
力

奉
仕

感
謝



真
心

（

努
力

+

奉
仕

）



感
謝

「真心(努力＋奉仕)→感謝」について

学園において創立の原点の一つである「真心・努力・奉仕・感謝」の四大精神を実践することは仕事をする上で基本中の基本です。この四大精神を「真心」・「努力」・「奉仕」・「感謝」と4つに分解して、「真心を込めて行うことが大切です」・「常に努力することが大切です」・「奉仕の精神を忘れないことが大切です」・「何事にも感謝できることが大切です」と理解され、実践されています。

そこで、「真心・努力・奉仕・感謝」を「真心・努力・奉仕」「感謝」と前の3つと後の1つに分解し、更に「真心(努力＋奉仕)→感謝」＝「真心・努力＋真心・奉仕→感謝」と書き替えてみます。このように書き替えると、「感謝」が一番重要な価値として浮かび上がります。「感謝」には「感謝する」と「感謝される」の両面がありますので、ここでは「感謝される」の方を取り上げます。

すると、「感謝のためには努力が必要である。しかし、単なる努力では感謝までには至らない。真心を込めることが必要である」と読めます。さらに、「感謝という価値を生み出すためには、努力だけでは足りない。奉仕も必要である。しかも、真心を込めた奉仕が必要である」と読めます。

つまり、「真心(努力＋奉仕)→感謝」という公式は「感謝」という価値を生み出すための方法を示唆しています。「組織の内部に存在するものは努力だけである。成果は外部にしかありえない」というマネジメントの大家ピーター・ドラッカーの教えと相通じるものがあります。

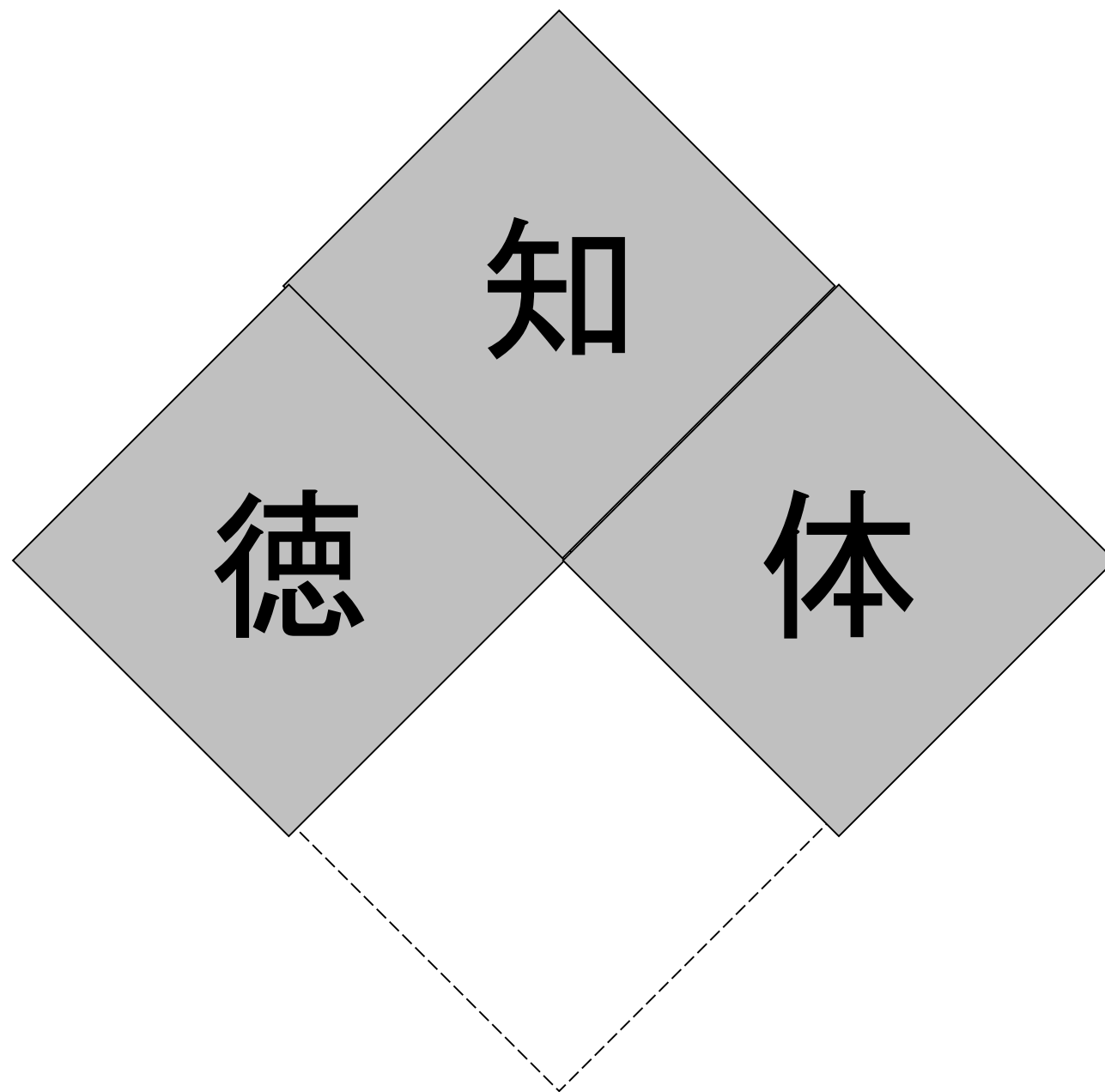
さて、今日まで学園が存続できたのは、この100年間「誰でも無限の可能性を持っている」という教育信条や「真心・努力・奉仕・感謝」の四大精神を大切にしてきたからです。これからも同じです。

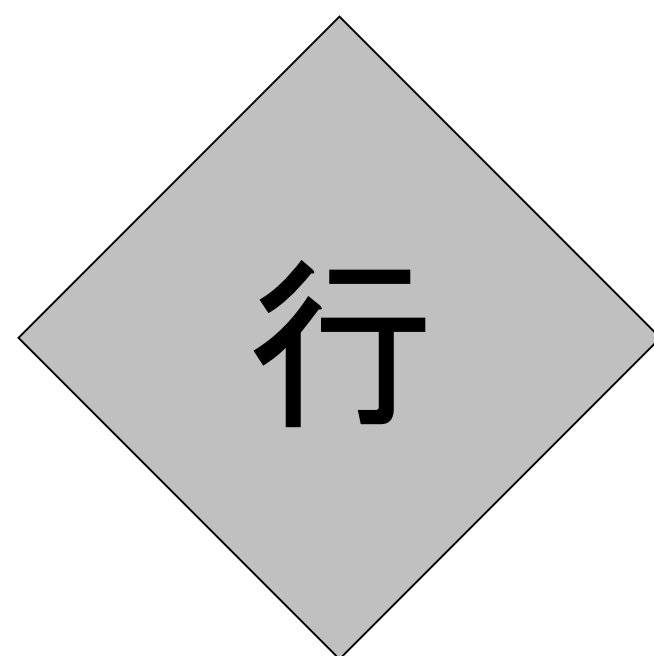
創立100周年を機に、一人ひとりが今一度「創立の原点」に立ち返り「無限の可能性」に挑戦して「教育にイノベーション！」を興しましょう。

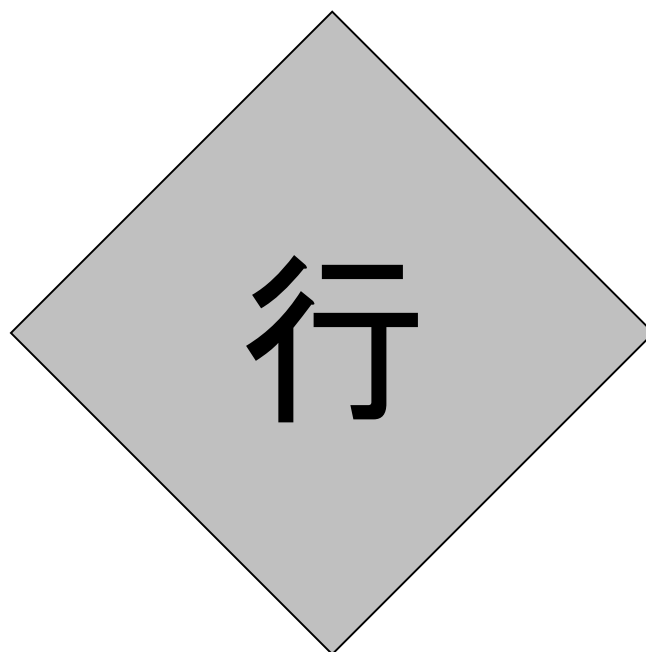
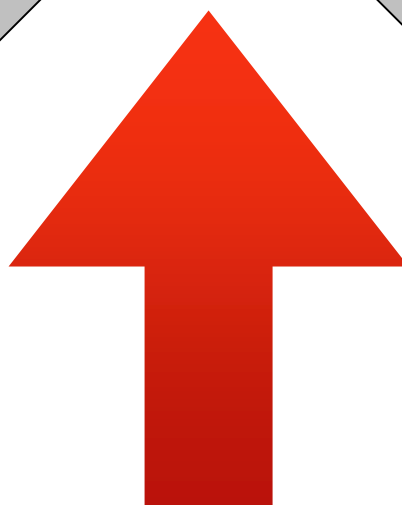
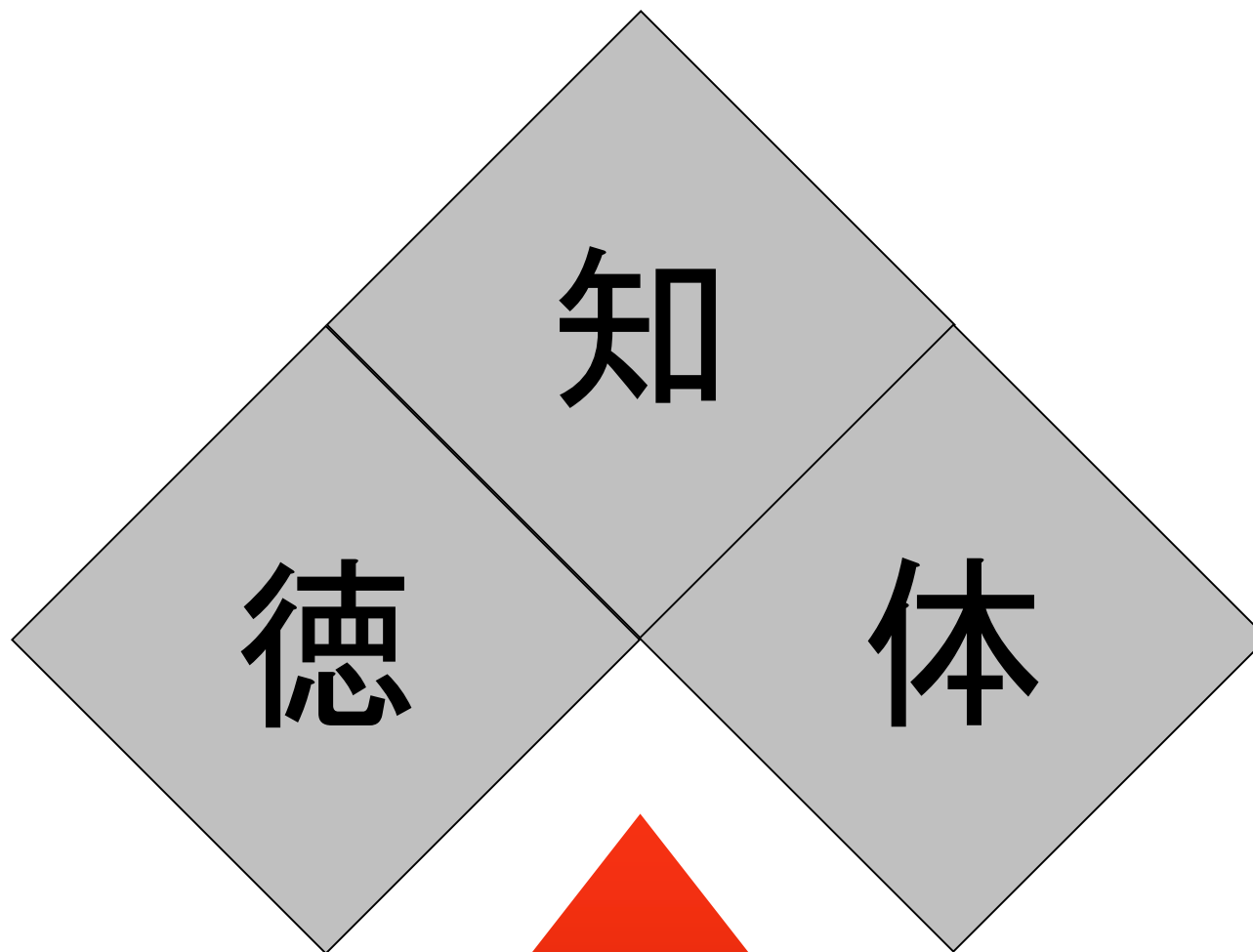
知

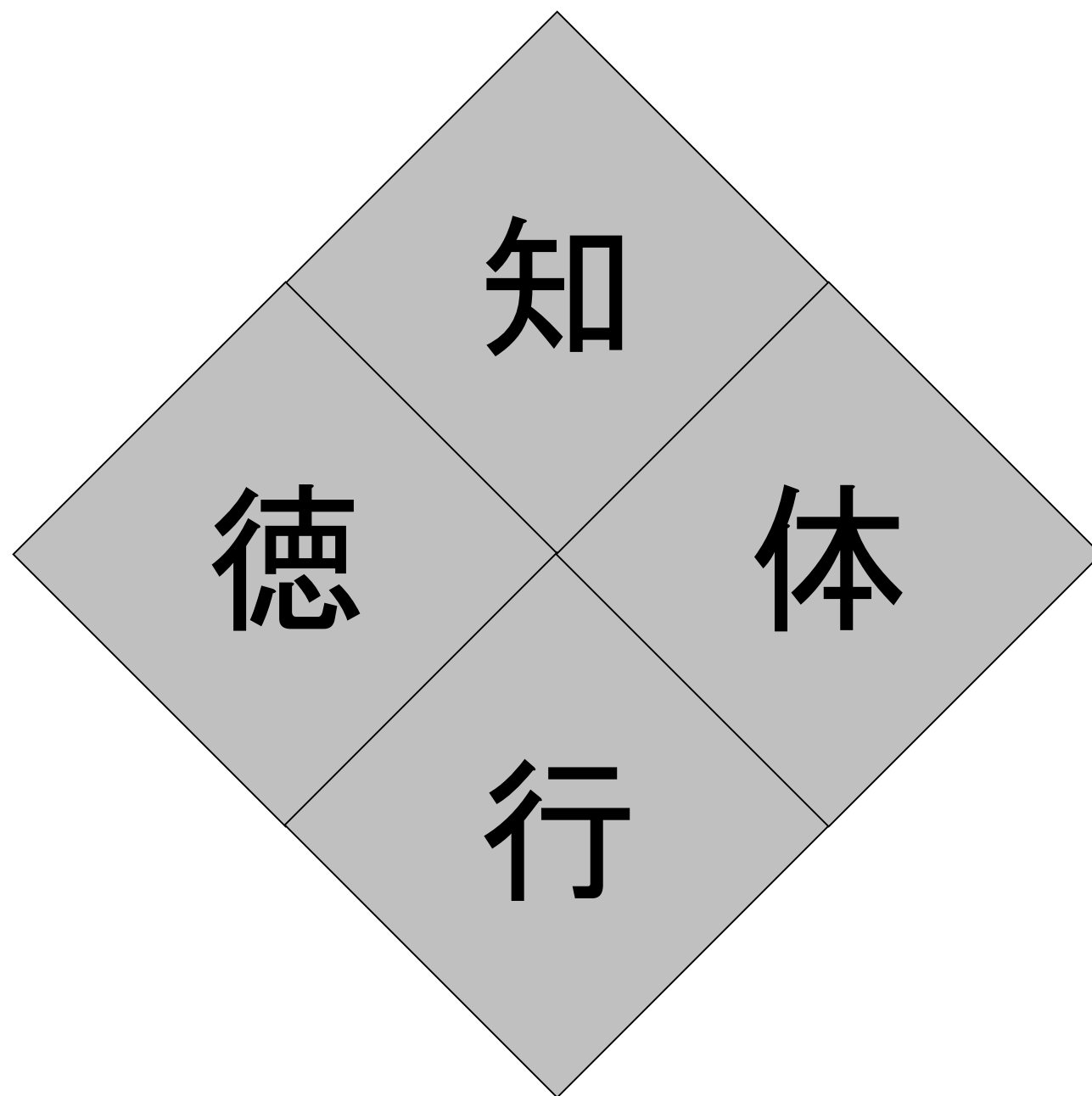
徳

体







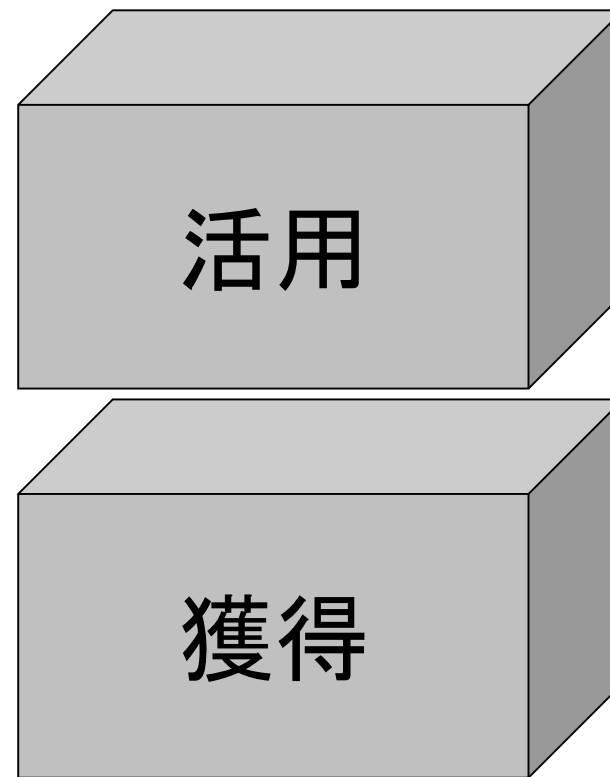


教育における3段階ステップ



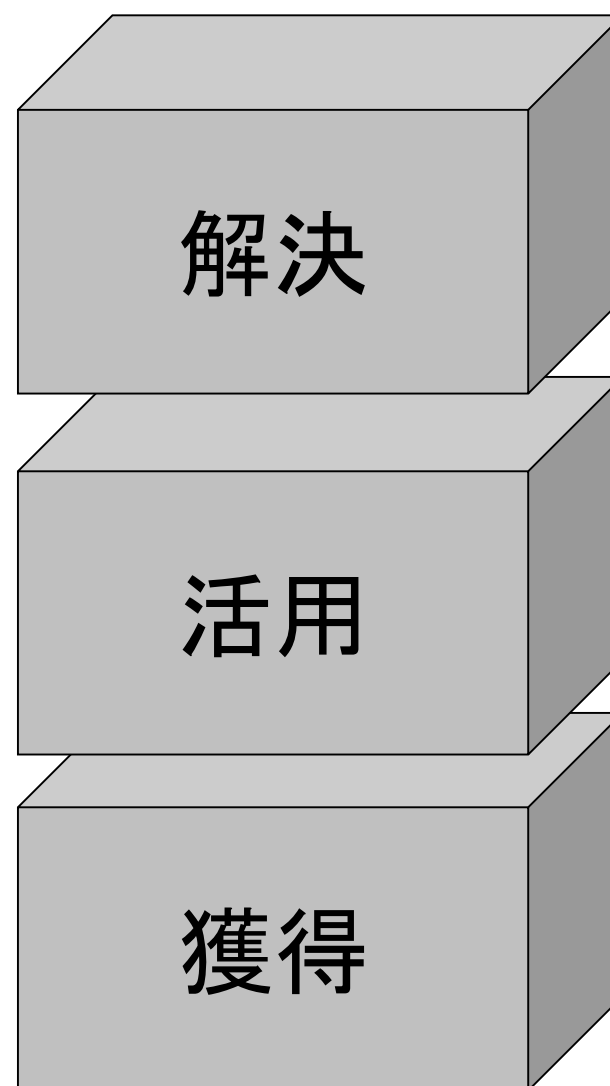
第1段階

教育における3段階ステップ



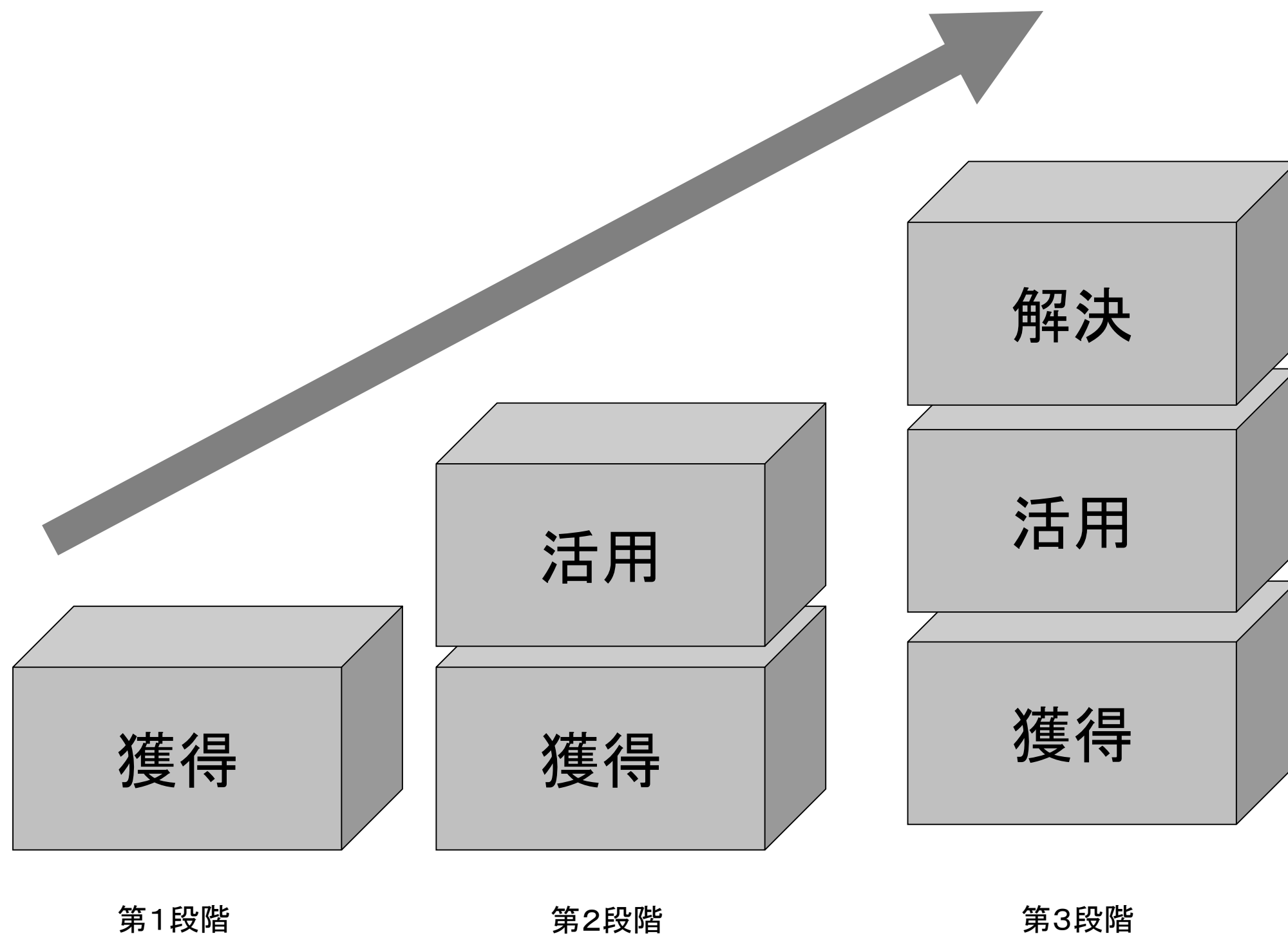
第2段階

教育における3段階ステップ

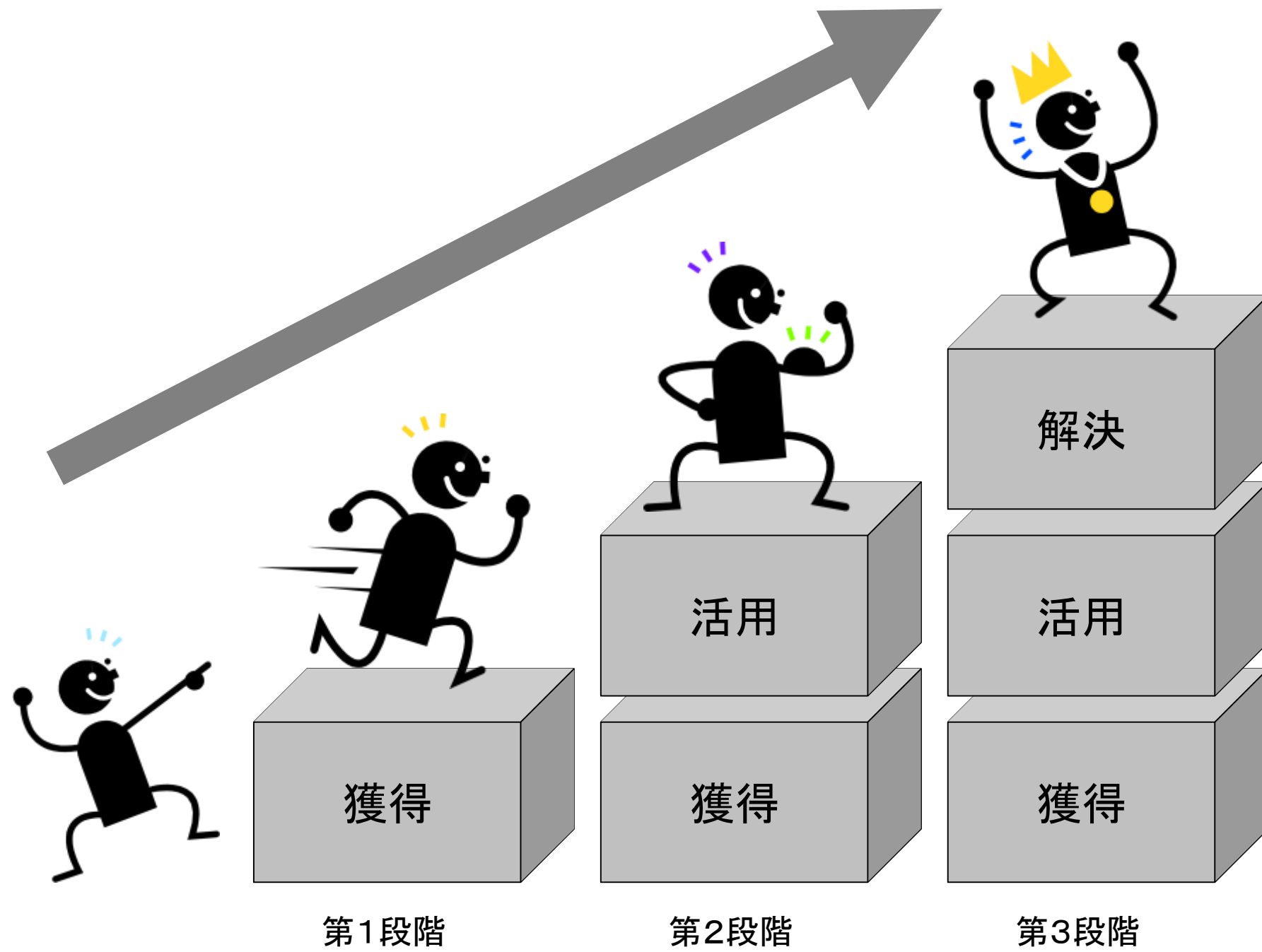


第3段階

教育における3段階ステップ



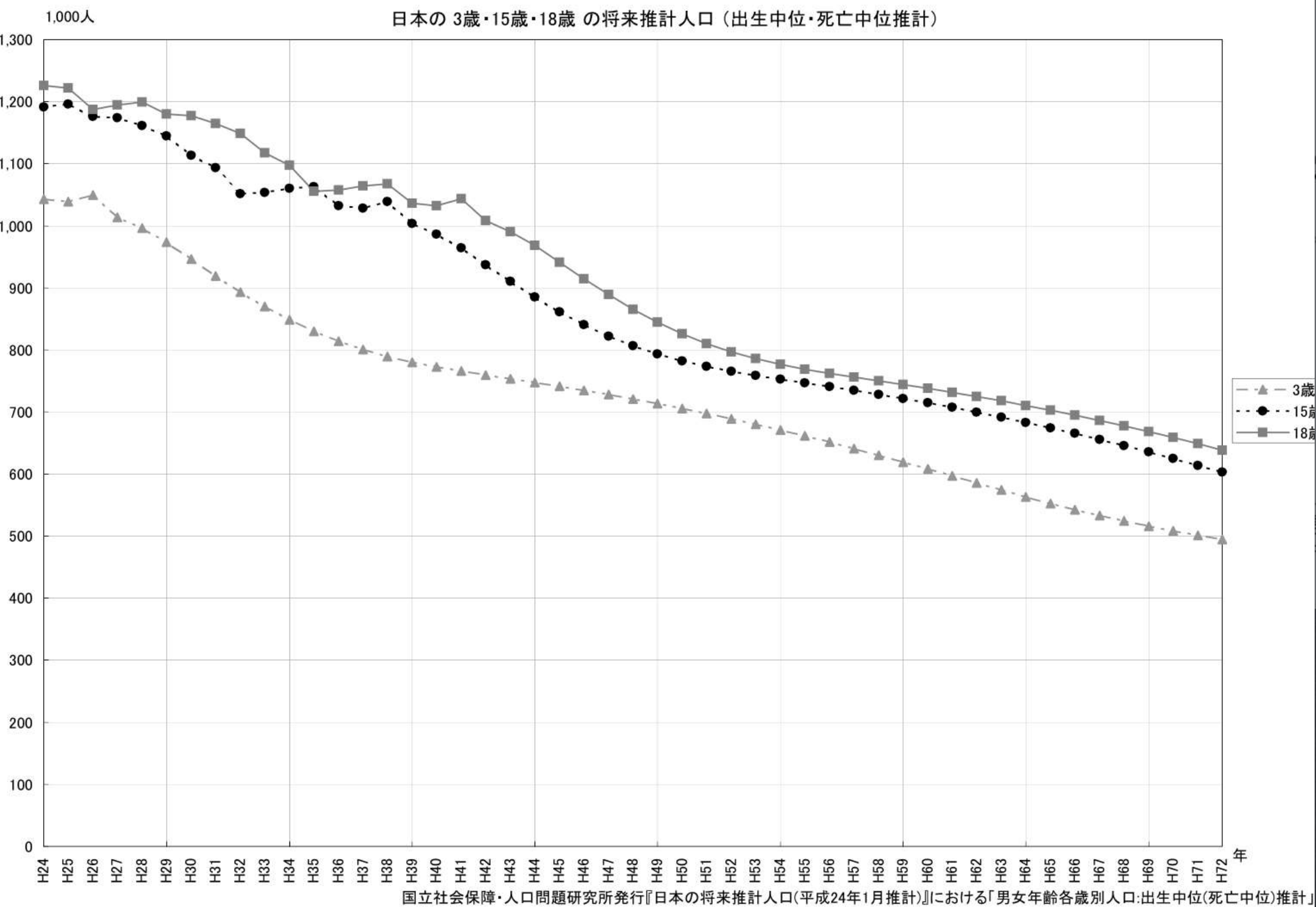
学習における3段階ステップ

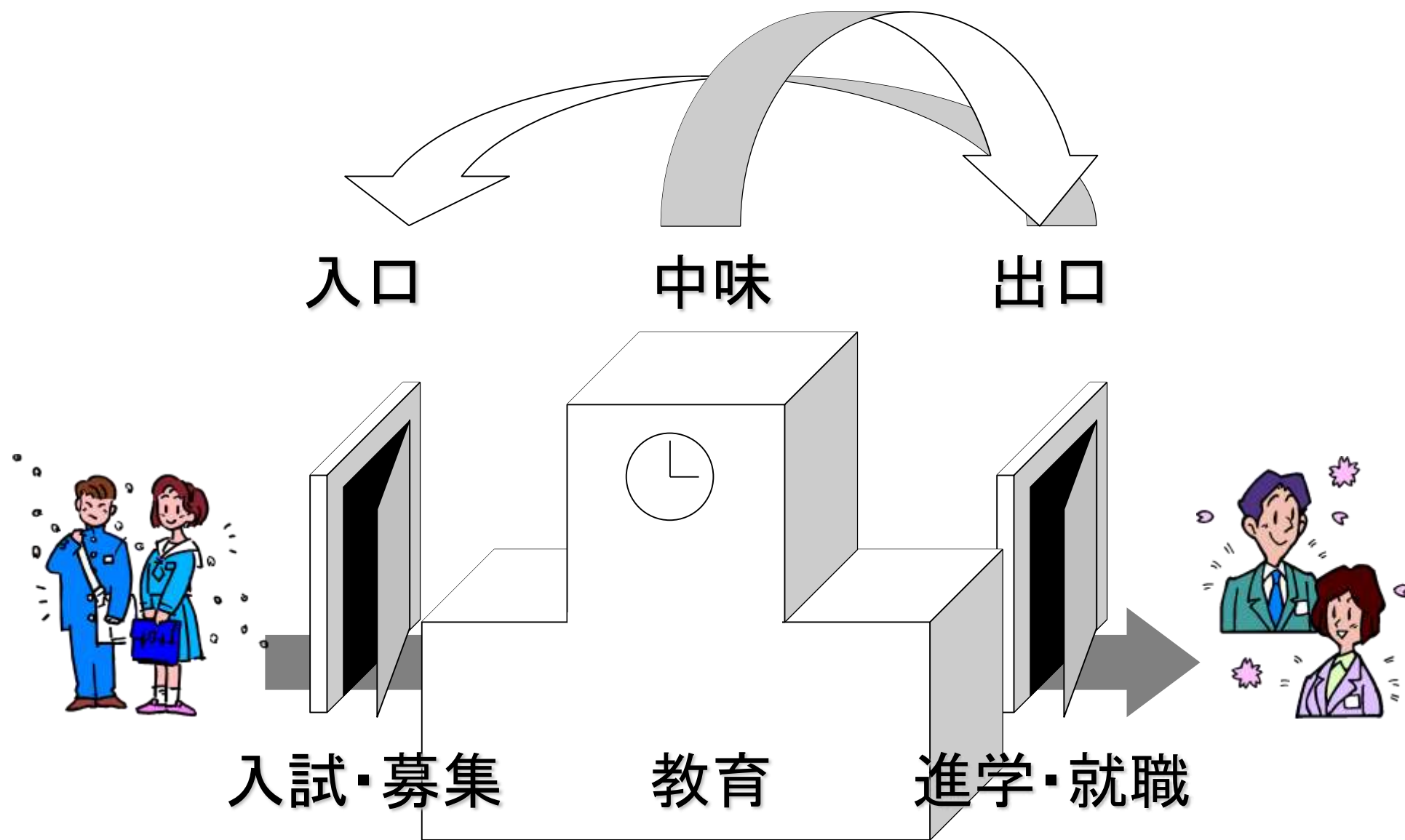


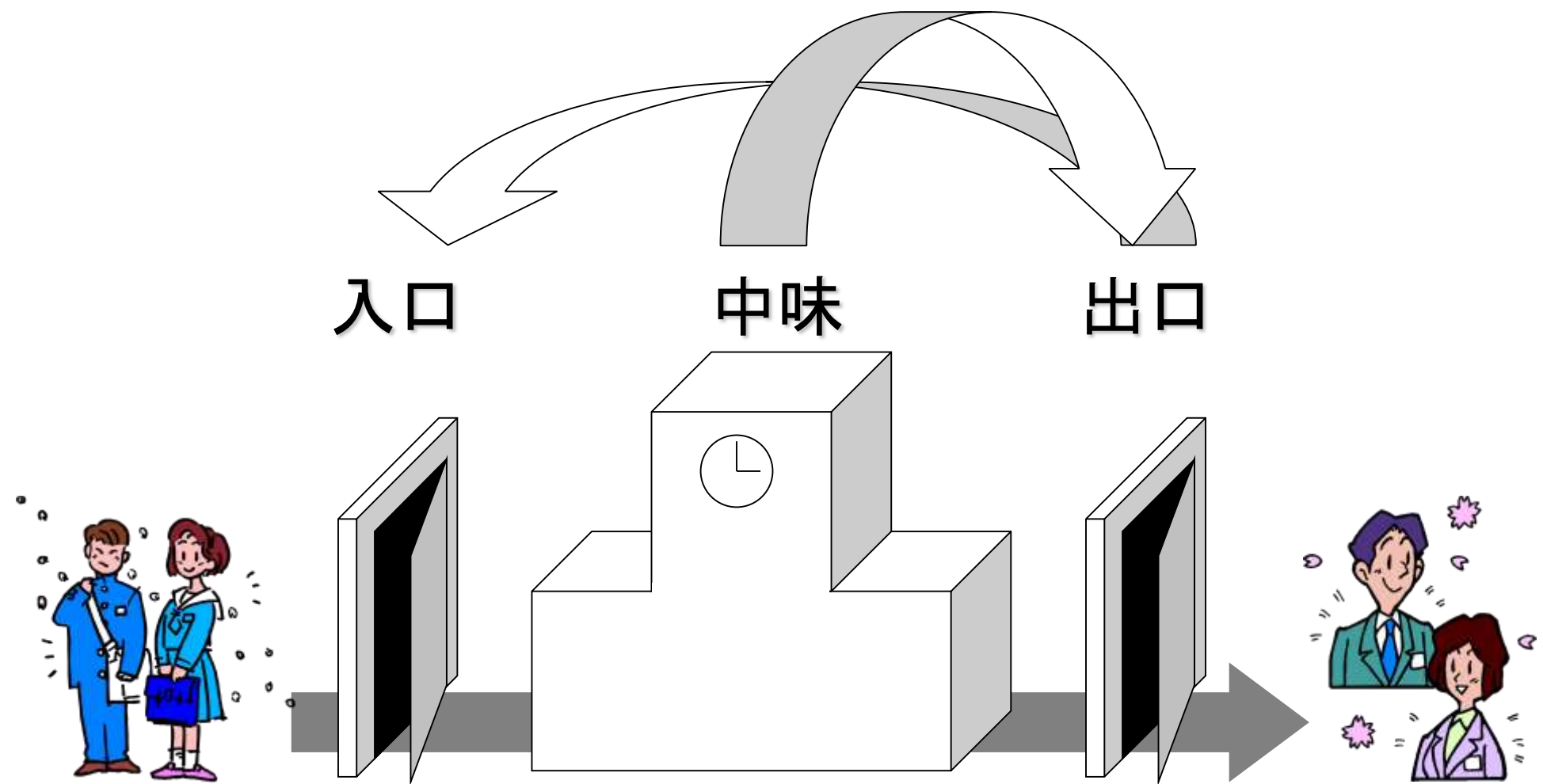
キャンセル

将来人口推計(全国)H24.pdf

送信



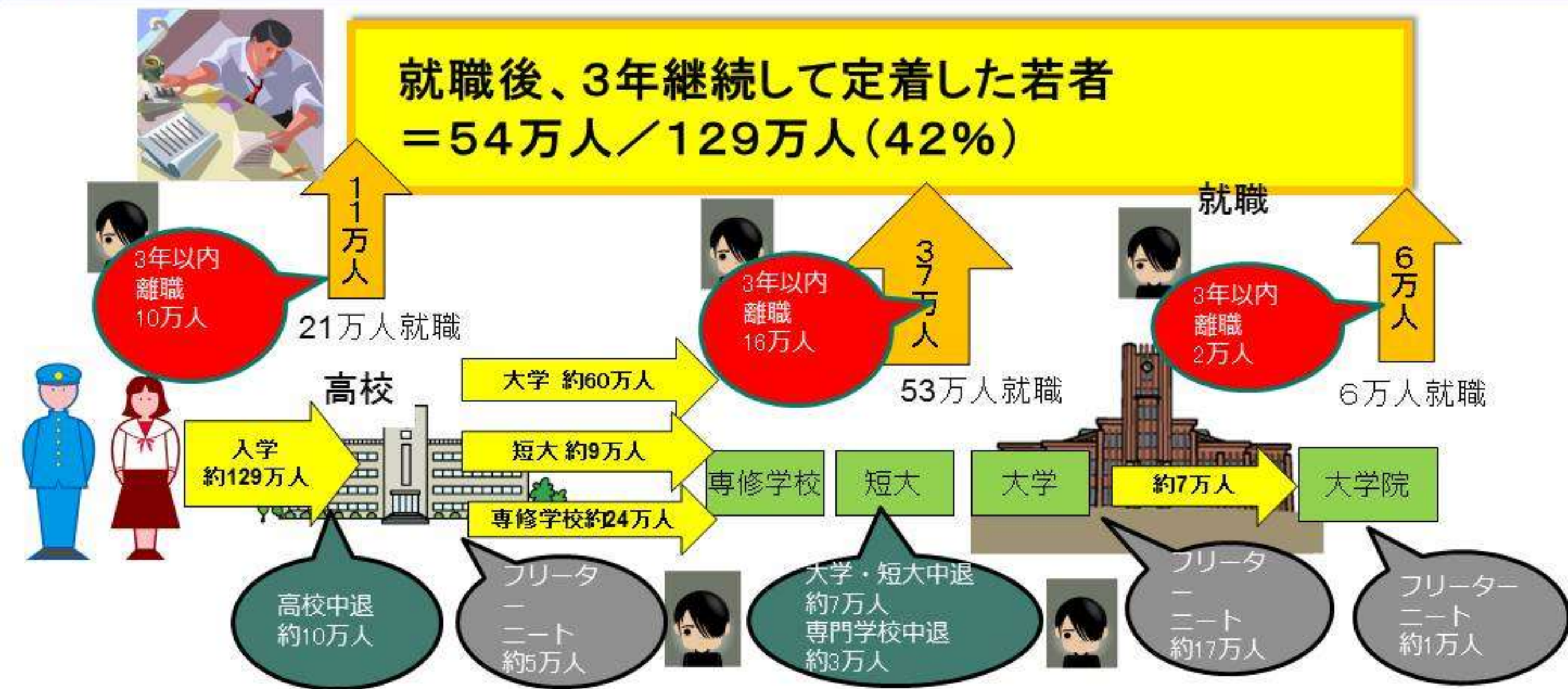




入試・募集 私たちの仕事 進学・就職



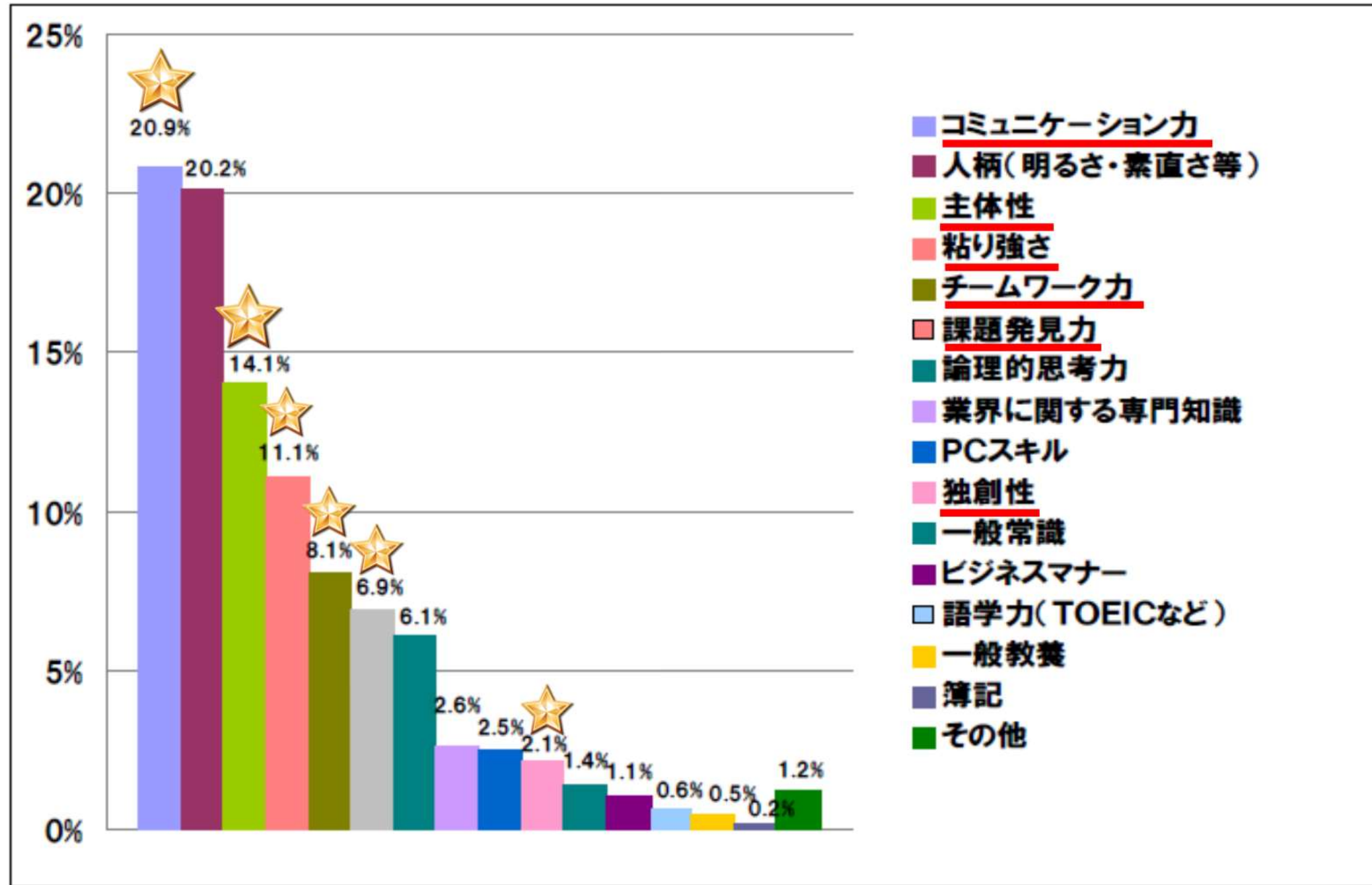
若者の力をムダにする教育の実情



**77万人の若者が、一度は中退・離職を経験し、
そこからはい上がらねばならない状況。**



自社で活躍している若手人材（ハイパフォーマー）が共通して持っている能力要素【対企業】～経済産業省調査

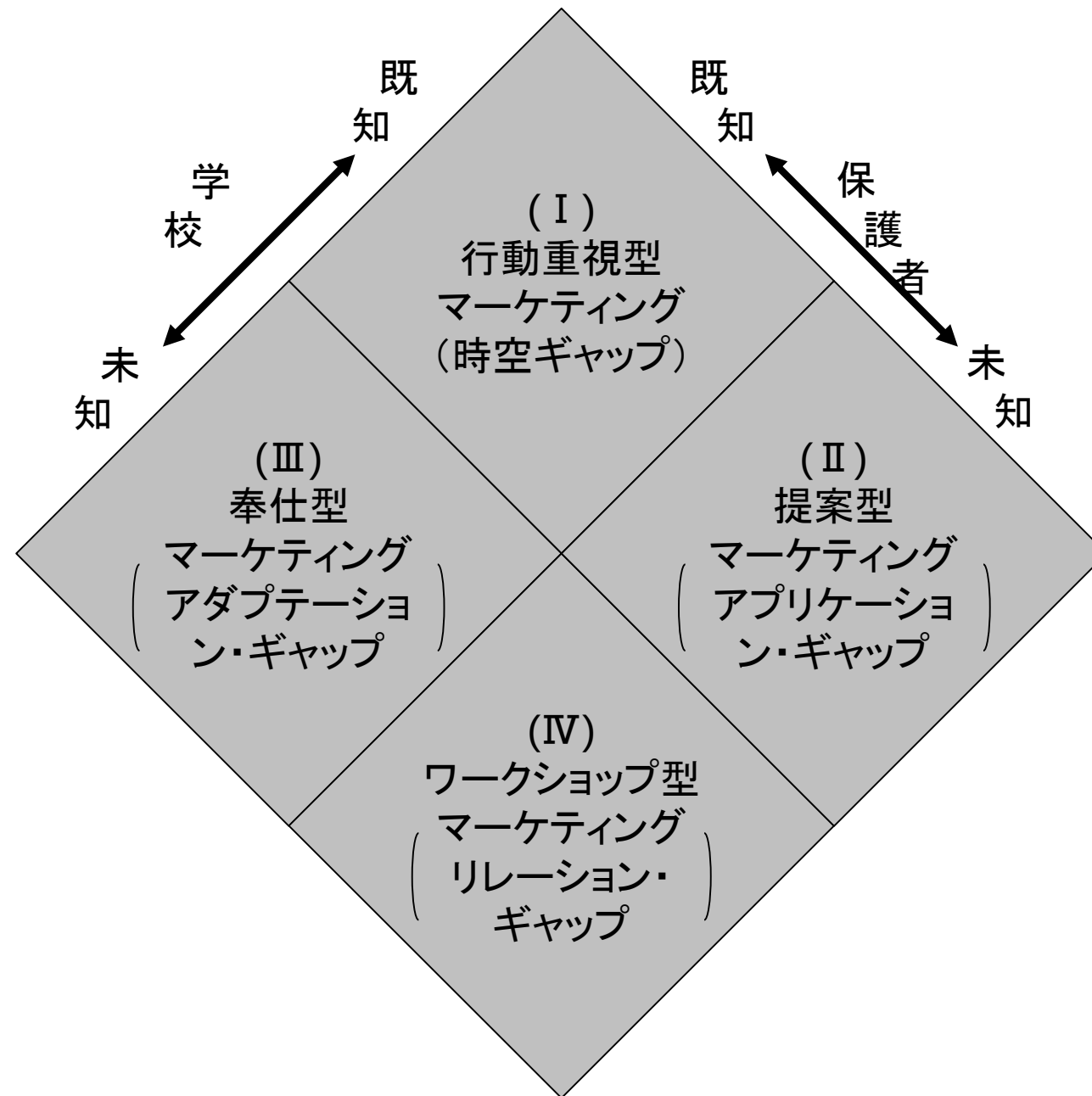


※上位3つまで回答

企業人事採用担当者

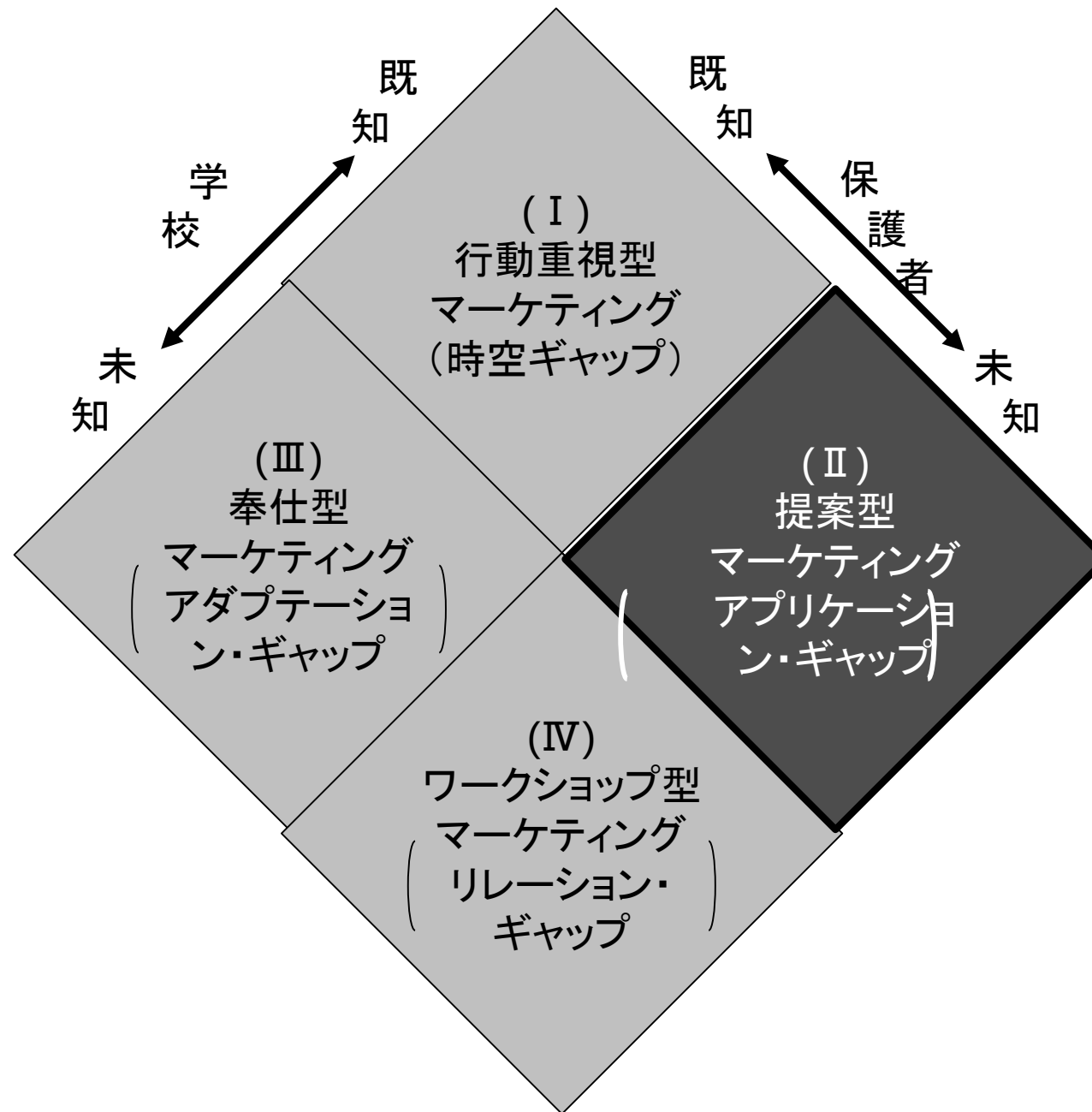
n: 3091

ソリューション満足マーケティング類型



嶋口充輝著『顧客満足型マーケティングの構図 新しい企業成長の理論を求めて』(有斐閣 1994)を参考に作成

図23 ソリューション満足度のマーケティング類型



嶋口充輝 1994『顧客満足型マーケティングの構図 新しい企業成長の理論を求めて』有斐閣



安城学園

マネジメントのために必要な資源

ヒト

モノ

カネ

情報

安城学園教職員憲章

安城学園教職員憲章

私たち一人ひとりが学校法人安城学園の教職員として建学の理念と建学の精神に基づいた仕事を通して「生きる意志と生きる力と生きる喜びに満ち溢れた」素晴らしい人生を送ることができるよう、ここに『安城学園教職員憲章』を定めます。

一、「誰でも無限の可能性を持っている」という創立者の信念を共有しましょう

一、家庭に温かい心、職場に新しい息吹を与えるために「真心・努力・奉仕・感謝」の四大精神を実践しましょう

一、建学の精神の実践を通して、私たち一人ひとりの潜在能力を可能性の限界まで開発しましょう

一、職場と地域社会の課題を解決するために、私たち一人ひとりのマネジメント能力を高めましょう

一、「私たちの仕事はまちづくり」をモットーに、地域の人材育成を通して「三河のまちづくり」に貢献しましょう

一、無限の可能性に挑戦できるように、知・徳・体を鍛え上げるだけでなく、社会人基礎力も鍛え上げましょう

一、建学の理念「庶民性と先見性」を実現することによって、安城学園の歴史と伝統を継承・発展させましょう

学校法人安城学園創立一〇〇周年を記念して制定（平成二十四年十一月三十日理事会）

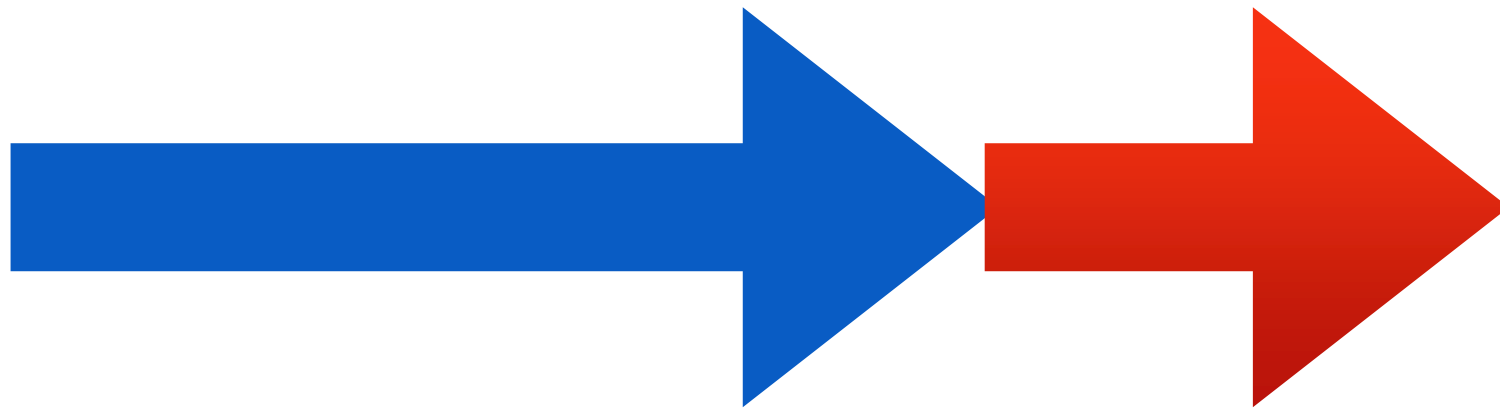
無限の可能性

に

挑戦

発達の最近接領域

自力で問題解決できる現時点で
ので発達水準



他者からの援助や協同により可能となるより高度
な潜在的発達水準



発達の最近接領域

自力で問題解決できる現時点で
ので発達水準



他者からの援助や協同により可能となるより高度
な潜在的発達水準



発達の最近接領域

自力で問題解決できる現時点で
ので発達水準



他者からの援助や協同により可能となるより高度
な潜在的発達水準





よく考えてみよう。(～a) 他者の助けがなければできないことのなかには、(b) みんな(＝同じような学
ればできるようなこと) がある。一般的に、みんなと一緒にできることのレパートリー (b) は、ひと
(a) よりも広範囲におよぶ。このみんなと一緒にできることのレパートリー (b) は、ひとりできるこ
- a, b マイナス a) を最近接発達領域 (Zone of Proximal Development) 英語のアクロニムでZPDと呼ぶ。その
照のこと。

なお最近接発達領域という、直訳風のわかりにくい訳語のために「発達の最近接領域」と呼ぶ専門家もい

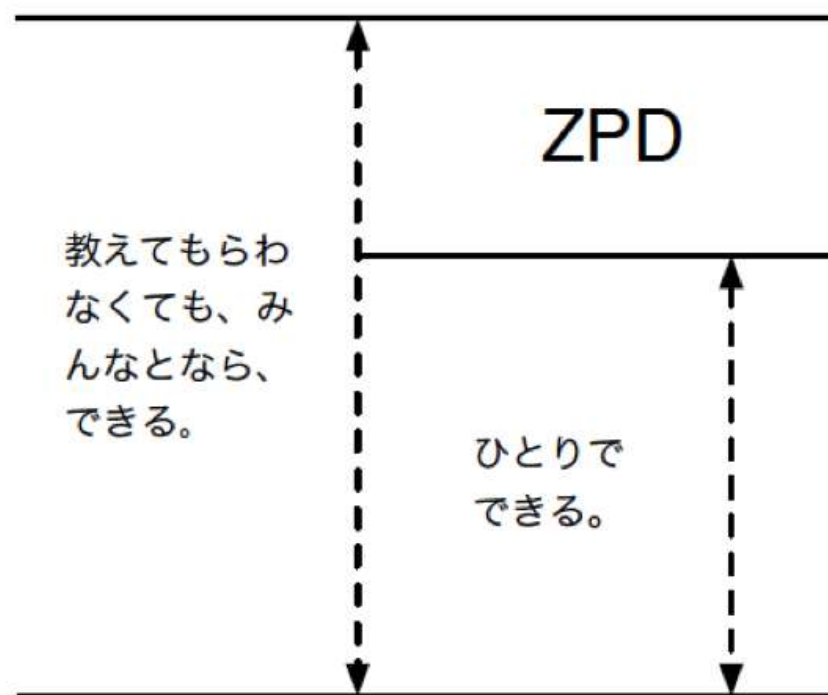


Figure: Original by Mitzub'ixi Quq Chi'j
ZPD, Zone of Proximal Development, зона ближайшего развития.
L.S. Vygotsky: Mind in Society: Development of Higher Psychological
Processes, p. 86, Cambridge, Mass.:Harvard University Press.



はじめによんでください

最近接発達領域（ZPD）

さいきんせつはったつりょういき, Zone of Proximal Development



解説：池田光穂

最近接発達領域（さいきんせつはったつりょういき）とは、ロシアの心理学者レフ・ヴィゴツキー（L.S. Vygotsky, 1896-1934 [写真]）が提唱した、他者（＝なかま）との関係において「**あることができる（＝わかる）**」という行為の水準ないしは領域のことである。

我々には、（a）他者の助けなしにわかる（＝やれる）ことと、（～a）他者の助けがなくてはできないことがあることを知っている。学校教育の現場では、学習者である児童や生徒は、他者——この場合は先生——による教育にのみ学習を完成することができるという固定観念に我々は長いあいだ縛られてきた。

あることがわかる、できるようになる、ことを我々は発達や成長と呼んでいるが、我々ははたして、他者の助けのあるなしで「できる（＝わかる）」ということを理解してよいものだろうか。

国語	古典講読	()	()	()	芸術	音楽表現Ⅱオーケストラ	()	()	()
	古典演習	()	()	()		音楽表現Ⅰコーラス	()	()	()
	国語総合表現Ⅰ	()	()	()		音楽表現Ⅱコーラス	()	()	()
	国語総合表現Ⅱ	()	()	()		音楽表現Ⅲコーラス	()	()	()
	国語演習Ⅱ	()	()	()		音楽演習Ⅰ楽典ソルフェージュⅠ	()	()	()
	国語演習Ⅲ	()	()	()		音楽演習Ⅱ楽典ソルフェージュⅡ	()	()	()
	国語表現	()	()	()		音楽教育実践	()	()	()
地理歴史	世界史A	()	()	()		音楽史 研究と鑑賞	()	()	()
	世界史B	()	()	()		美術基礎	()	()	()
	地理B	()	()	()		デザイン	()	()	()
	日本史B	()	()	()		素描①	()	()	()
	世界史演習	()	()	()		素描②	()	()	()
	地理B演習	()	()	()		美術応用	()	()	()
	日本史B演習	()	()	()		洋画Ⅰ	()	()	()
公民	現代社会	()	()	()		洋画Ⅱ	()	()	()
	現代社会演習Ⅰ	()	()	()		日本画Ⅰ	()	()	()
	現代社会演習Ⅱ	()	()	()		日本画Ⅱ	()	()	()
数学	数学Ⅰ	()	()	()	外国語	英語Ⅰ	()	()	()
	数学Ⅱ	()	()	()		英語Ⅱ	()	()	()
	数学Ⅲ	()	()	()		リーディング演習	()	()	()
	数学A	()	()	()		ライティング演習	()	()	()
	数学B	()	()	()		英会話	()	()	()
	数学C	()	()	()		英語コミュニケーション	()	()	()
	数学Ⅰ演習	()	()	()		総合英語	()	()	()
	数学演習	()	()	()		英語演習Ⅰ	()	()	()
		()	()	()		英語演習Ⅱ	()	()	()
理科	理科総合A	()	()	()	家庭	英語演習Ⅲ	()	()	()
	化学Ⅰ	()	()	()		家庭総合	()	()	()
	化学Ⅱ	()	()	()		被服	()	()	()
	生物Ⅰ	()	()	()	情報	食物	()	()	()
	生物Ⅱ	()	()	()		情報A	()	()	()
	生物演習	()	()	()		情報処理演習	()	()	()
	理科基礎実験	()	()	()	総合特活	総合的な学習の時間	()	()	()
	生活の化学	()	()	()		L. H. R.	()	()	()
保健体育	体育	()	()	()	留				

健康診断の検査項目

検査項目		検査結果
医師による診察		
身体計測	身長	
	体重	
	BMI	
	身長	
生理	血圧	
	標準12誘導心電図	
	視力検査	
	聴力検査	
X線	胸部X線	
	蛋白半定量	

検査項目		検査結果
血液学	赤血球	
	血色素	
	ヘマトクリット	
	MCV	
	MCH	
	MCHC	
生化学	中性脂肪	
	HDL-コレステロール	
	LDL-コレステロール	
	GOT	
	GPT	

人間ドックの検査項目例

検査項目		検査結果
診察		
身体計測	身長	
	体重	
	BMI	
	身長	
生理	血圧	
	標準12誘導心電図	
	眼底検査	
	眼圧検査	
	視力検査	
	肺機能検査	
X線他	胸部X線	
	胃X線	
	腹部超音波	
便	潜血	

検査項目		検査結果
尿	蛋白半定量	
	尿糖	
	潜血	
	沈渣	
	比重	
血液学	赤血球	
	白血球	
	血色素	
	ヘマトクリット	
	血小板数	
	MCV	
	MCH	
	MCHC	
血清学	CRP	
	血液型	
	HBs抗原	

検査項目		検査結果
生化学	総蛋白	
	A/G	
	アルブミン	
	クレアチニン	
	尿酸	
	総コレステロール	
	HDL-コレステロール	
	LDL-コレステロール	
	総/尿ビリルビン	
	GOT	
	GPT	
	γ-GTP	
	AL-P	
	血糖	
	HbA1c	

	知			徳			体		
	獲得	活用	解決	獲得	活用	解決	獲得	活用	解決
大学									
高校									
中学校									
小学校									
幼稚園									

	獲得			活用			解決		
	知	徳	体	知	徳	体	知	徳	体
大学									
高校									
中学校									
小学校									
幼稚園									

		知	徳	体
大 学	解決			
	活用			
	獲得			
高 校	解決			
	活用			
	獲得			
中 学 校	解決			
	活用			
	獲得			
小 学 校	解決			
	活用			
	獲得			
幼 稚 園	解決			
	活用			
	獲得			

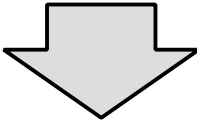
		知	徳	体	行
大 学	解決				
	活用				
	獲得				
高 校	解決				
	活用				
	獲得				
中 学 校	解決				
	活用				
	獲得				
小 学 校	解決				
	活用				
	獲得				
幼 稚 園	解決				
	活用				
	獲得				

[illegible]

「知・徳・体・行」の各要素に対して

	汎用	専門
応用	汎用・応用	専門・応用
基礎	汎用・基礎	専門・基礎

	先生		学生	
	教育の到達レベル		学習の到達レベル	
1	K	獲得	K	獲得



	先生		学生	
	教育の到達レベル		学習の到達レベル	
3	K	解決	K	解決
2	K	活用	K	活用
1	K	獲得	K	獲得

知

体

課題

徳

行



知

体

課題

徳

行



課題

知 徳 体

行

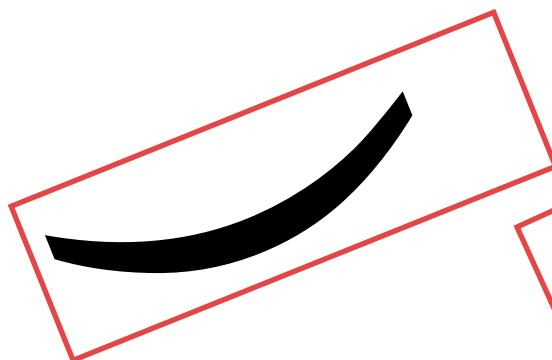
真心

努力

奉仕

感謝

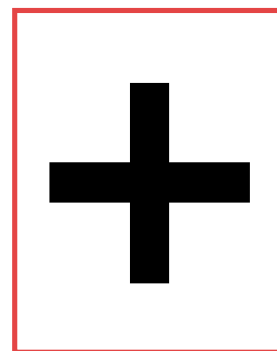
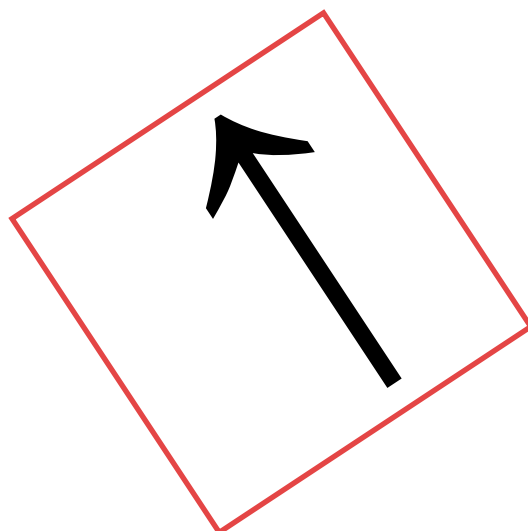
己 癸



齋 齋

歺 歺

奉 仕



真心

（

努力

+

奉仕

）



感謝

「真心(努力＋奉仕)→感謝」について

学園において創立の原点の一つである「真心・努力・奉仕・感謝」の四大精神を実践することは仕事をする上で基本中の基本です。この四大精神を「真心」・「努力」・「奉仕」・「感謝」と4つに分解して、「真心を込めて行うことが大切です」・「常に努力することが大切です」・「奉仕の精神を忘れないことが大切です」・「何事にも感謝できることが大切です」と理解され、実践されています。

そこで、「真心・努力・奉仕・感謝」を「真心・努力・奉仕」「感謝」と前の3つと後の1つに分解し、更に「真心(努力＋奉仕)→感謝」＝「真心・努力＋真心・奉仕→感謝」と書き替えてみます。このように書き替えると、「感謝」が一番重要な価値として浮かび上がります。「感謝」には「感謝する」と「感謝される」の両面がありますので、ここでは「感謝される」の方を取り上げます。

すると、「感謝のためには努力が必要である。しかし、単なる努力では感謝までには至らない。真心を込めることが必要である」と読めます。さらに、「感謝という価値を生み出すためには、努力だけでは足りない。奉仕も必要である。しかも、真心を込めた奉仕が必要である」と読めます。

つまり、「真心(努力＋奉仕)→感謝」という公式は「感謝」という価値を生み出すための方法を示唆しています。「組織の内部に存在するものは努力だけである。成果は外部にしかありえない」というマネジメントの大家ピーター・ドラッカーの教えと相通じるものがあります。

さて、今日まで学園が存続できたのは、この100年間「誰でも無限の可能性を持っている」という教育信条や「真心・努力・奉仕・感謝」の四大精神を大切にしてきたからです。これからも同じです。

創立100周年を機に、一人ひとりが今一度「創立の原点」に立ち返り「無限の可能性」に挑戦して「教育にイノベーション！」を興しましょう。

自由／不自由

教育の
第1ステージ
(教室で)

教育の
第2ステージ
(学校で)

教育の
第3ステージ
(地域で)

教育の
第4ステージ
(海外で)

各設置校のカリキュラム

各設置校の教育方針等

学園全体の教育方針等



Podcast



iBooks



iTunes U



Find iPhone



電卓+



Keynote



Numbers



Quickoffice



quick-zip



GoodReader



Connoisseur



Goog...ライブ



YouTube



Goog...ンダー



Dropbox



Adobe Reader



ImageToText



SugarSync



SkyDrive



Evernote



Safari



メール



ビデオ



ミュージック



KDrive



温度計



ネットラジオ



乗換ナビ



Penultimate



Kingsoft Office



Chrome



CloudOn



My Disk



Revel



Box



My WebDAV



Vintage Cam



Gmail



宅ふぁいる便



WebDAV Nav



Catch



Google Earth



Google



Safari



メール



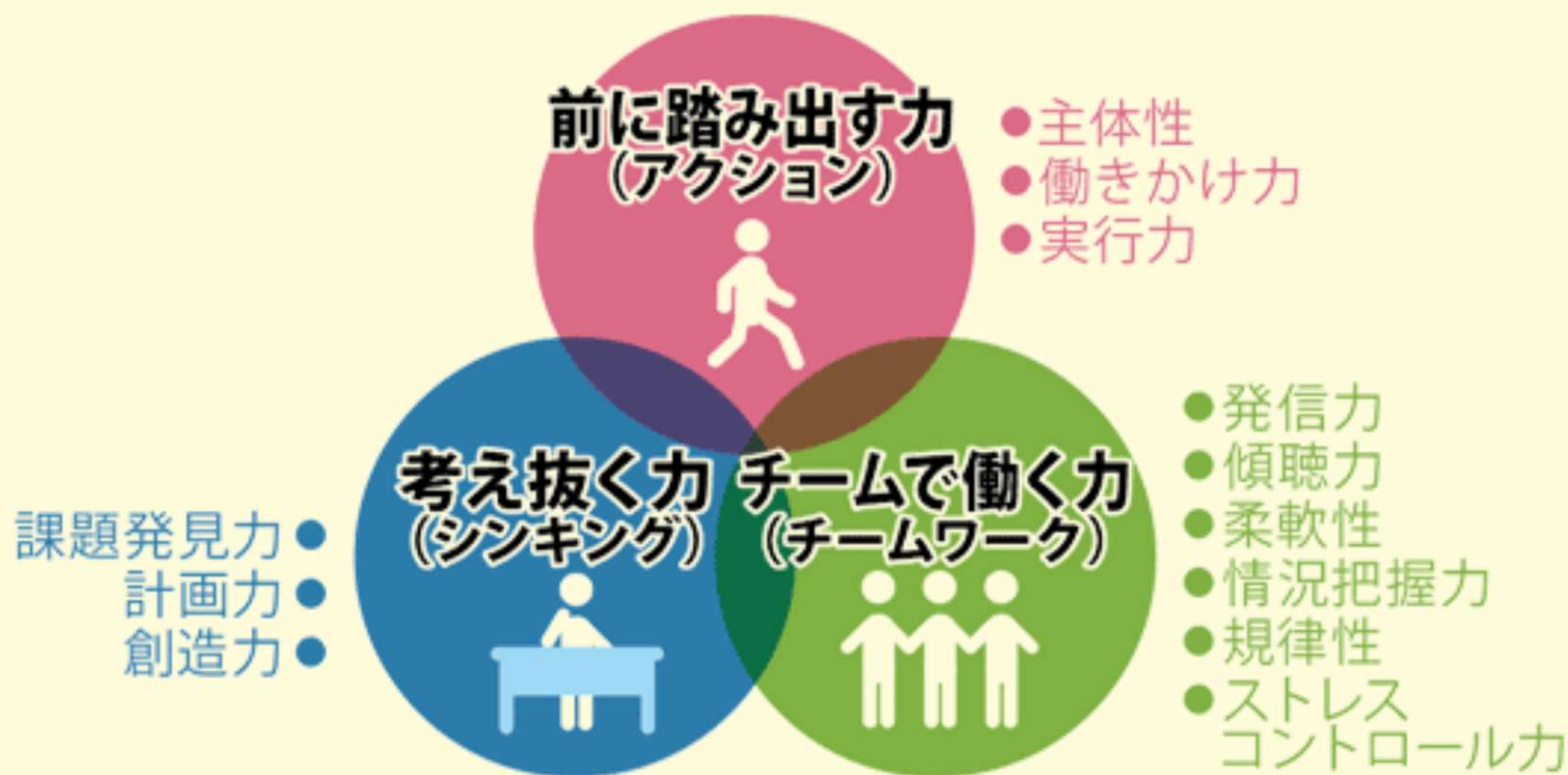
ビデオ



ミュージック

社会人基礎力の能力要素

『社会人基礎力』とは…



分類	能力要素	内 容	評価基準	評価
Ⅰ 前に踏み出す力 (アクション)	① 主体性	物事に進んで取り組む力 例)指示を待つのではなく、自らやるべきことを見つけて積極的に取り組む。	常に、自らやるべきことを見つけて、積極的に取り組むことができる。	5
			内容によっては、自らやるべきことを見つけて、積極的に取り組むことができる。	4
			内容によっては、試行錯誤しながらも、前向きに取り組もうとする。	3
			やるべきことの指示があれば、前向きに取り組もうとする。	2
			やるべきことの指示があっても、前向きに取り組めないことがある。	1
	② 働きかけ力	他人に働きかけ巻き込む力 例)「やろうじゃないか」と呼びかけ、目的に向かって周囲の人々を動かしていく。	自分と異なる立場の人に対して、働きかけ、そして動かしていくことができる。	5
			内容によっては、自分と異なる立場の人に対して、働きかけ、そして動かしていくことができる。	4
			自分と同じ立場の人に対しては、働きかけ、そして動かしていくことができる。	3
			自分と同じ立場の人に対しては、働きかけようとする。	2
			自分と同じ立場の人に対しても、働きかけることができないことがある。	1
	③ 実行力	目的を設定し確実に行動する力 例)言われたことをやるだけでなく自ら目標を設定し、失敗を恐れず行動に移し、粘り強く取り組む。	自ら目標を設定し、確実にやりとげることができる。	5
			内容によっては、自ら目標を設定し、確実にやりとげることができる。	4
			内容によっては、自ら目標を設定し、粘り強く取り組もうとする。	3
			自ら目標を設定することはできないが、粘り強く取り組もうとする。	2
			粘り強く取り組むことができないことがある。	1

分類	能力要素	内 容	評価基準	評価
Ⅱ 考え抜く力 (シンキング)	④ 課題発見力	現状を分析し目的や課題を明らかにする力 例)目標に向かって、自ら「ここに問題があり、解決が必要だ」と提案する。	常に基礎・専門知識を活用し、実態の把握と分析ができ、課題点を明らかにし明確な目的を提案することができる。	5
			基礎・専門知識を活用し、実態の把握と分析ができ、課題点を明らかにし明確な目的を提案することができる。	4
			得意な分野に限り、現状の把握と分析ができ、課題点を明らかにし明確な目的を提案することができる。	3
			現状を分析し、目的や課題を明らかにできるが、提案まではできない。	2
			現状を分析、提案することができない。	1
	⑤ 計画力	課題の解決に向けたプロセスを明らかに準備する力 例)課題の解決に向けた複数のプロセスを明確にし、「その中で最善のものは何か」を検討し、それに向けた準備をする。	常に課題解決に向けた複数のプロセスを用意し、実施計画を立案する力がある。	5
			課題解決に向けたプロセスを明確に示すことができ、実施計画を立案する力がある。	4
			得意分野に限り、課題解決に向けたプロセスを明確に示すことができ、実施計画を立案する力がある。	3
			課題解決に向けたプロセスを示すことはできるが、実施計画を立案する力が弱い。	2
			課題解決に向けたプロセスを示すことができず、実施計画を立案する力がない。	1
	⑥ 創造力	新しい価値を生み出す力 例)既存の発想にとらわれず、課題に対して新しい解決方法を考える。	常に課題に対する新しい解決方法の発想や新しい価値を生み出す力がある。	5
			課題に対する新しい解決方法の発想や新しい価値を生み出す力がある。	4
			得意分野に限り、課題に対する新しい解決方法の発想や新しい価値を生み出す力がある。	3
			自力では、課題に対する新しい解決方法の発想や新しい価値を生み出す力が弱い。	2
			自力では、課題に対する新しい解決方法の発想や新しい価値を生み出す力がない。	1

分類	能力要素	内 容	評価基準	評価
Ⅱ 考え抜く力 (シンキング)	④ 課題発見力	現状を分析し目的や課題を明らかにする力 例)目標に向かって、自ら「ここに問題があり、解決が必要だ」と提案する。	常に基礎・専門知識を活用し、実態の把握と分析ができ、課題点を明らかにし明確な目的を提案することができる。	5
			基礎・専門知識を活用し、実態の把握と分析ができ、課題点を明らかにし明確な目的を提案することができる。	4
			得意な分野に限り、現状の把握と分析ができ、課題点を明らかにし明確な目的を提案することができる。	3
			現状を分析し、目的や課題を明らかにできるが、提案まではできない。	2
			現状を分析、提案することができない。	1
	⑤ 計画力	課題の解決に向けたプロセスを明らかに準備する力 例)課題の解決に向けた複数のプロセスを明確にし、「その中で最善のものは何か」を検討し、それに向けた準備をする。	常に課題解決に向けた複数のプロセスを用意し、実施計画を立案する力がある。	5
			課題解決に向けたプロセスを明確に示すことができ、実施計画を立案する力がある。	4
			得意分野に限り、課題解決に向けたプロセスを明確に示すことができ、実施計画を立案する力がある。	3
			課題解決に向けたプロセスを示すことはできるが、実施計画を立案する力が弱い。	2
			課題解決に向けたプロセスを示すことができず、実施計画を立案する力がない。	1
	⑥ 創造力	新しい価値を生み出す力 例)既存の発想にとらわれず、課題に対して新しい解決方法を考える。	常に課題に対する新しい解決方法の発想や新しい価値を生み出す力がある。	5
			課題に対する新しい解決方法の発想や新しい価値を生み出す力がある。	4
			得意分野に限り、課題に対する新しい解決方法の発想や新しい価値を生み出す力がある。	3
			自力では、課題に対する新しい解決方法の発想や新しい価値を生み出す力が弱い。	2
			自力では、課題に対する新しい解決方法の発想や新しい価値を生み出す力がない。	1

I.前に踏み出す力(アクション)

①主体性

【定義】

目的・目標を自己のものとし、物事を一歩でも前に進めるために成すべきことを自発的に探し出して積極的に行動できる力

②働きかけ力

【定義】

目的・目標の達成に向けて、参加と協力・協働の輪がより広がる・より深まるように周囲の人々に対して積極的に働き掛ける力

③実行力

【定義】

目的・目標を達成するという強い意志の下に、PDCAサイクルの全ての局面で決められた事を期限までに確実に成し遂げる力

II.考え抜く力(シンキング)

④課題発見力

【定義】

実態の的確な把握と分析に基づいて、問題点を洗い出し、目的・目標の達成のために有効でかつ納得できる課題を提案できる力

⑤計画力

【定義】

課題解決のために必要な具体的な手順・方法・スケジュール等をPDCAサイクルに落とし込んだ形で実施計画を提案できる力

⑥創造力

【定義】

固定観念や既存の発想に捉われない自由な発想・コミュニケーション・行動により、課題解決に繋がる新しい価値を生み出す力

III.チームで働く力(チームワーク)

⑦発信力

【定義】

自分の主張したいことを分かり易く整理して、相手に的確に理解してもらえるように伝えることができるコミュニケーション能力

⑧傾聴力

【定義】

相手の主張に対して心から丁寧に耳を傾けることができ、相手の主張したいことを的確に理解できるコミュニケーション能力

⑨柔軟性

【定義】

お互いの考え方や立場等に相違点があったとしても、それらを整理して理解した上で物事を一歩前に進める方向で対応できる力

⑩状況把握力

【定義】

自分の立場・役割・使命等を的確に認識して、自分と周囲の人々との関係性や進行中の物事との関連性を踏まえて行動できる力

⑪規律性

【定義】

人と人との約束事である一般社会のルール・慣習及びチームのルール・慣習等を十分理解し、それらを守った上で行動できる力

⑫ストレスコントロール力

【定義】

ストレスの解消方法を身に付けているだけでなく、ストレスそのものを自己の成長のチャンスと捉えて前向きに行動できる力

分類	能力要素	内 容	評価基準	評価
I 前に踏み出す力 (アクション)	① 主体性	目的・目標を自己のものとし、物事を一歩でも前に進めるために成すべきことを自発的に探し出して積極的に行動できる力	作成中	5
			//	4
			//	3
			//	2
			//	1
	② 働きかけ力	目的・目標の達成に向けて、参加と協力・協働の輪がより広がる・より深まるように周囲の人々に対して積極的に働き掛ける力	//	5
			//	4
			//	3
			//	2
			//	1
	③ 実行力	目的・目標を達成するという強い意志の下に、PDCAサイクルの全ての局面で決められた事を期限までに確実に成し遂げる力	//	5
			//	4
			//	3
			//	2
			//	1

分類	能力要素	内 容	評価基準
Ⅱ 考え抜く力 (シンキング)	④ 課題発見力	実態の的確な把握と分析に基づいて、問題点を洗い出し、目的・目標の達成のために有効でかつ納得できる課題を提案できる力	作成中
			//
			//
			//
			//
	⑤ 計画力	課題解決のために必要な具体的な手順・方法・スケジュール等をPDCAサイクルに落とし込んだ形で実施計画を提案できる力	//
			//
			//
			//
			//
	⑥ 創造力	固定観念や既存の発想に捉われない自由な発想・コミュニケーション・行動により、課題解決に繋がる新しい価値を生み出す力	//
			//
			//
			//
			//

分類	能力要素	内 容	評価基準	評価
Ⅲ チームで働く力 （チームワーク）	⑧発信力	自分の主張したいことを分かり易く整理して、相手に的確に理解してもらえるように伝えることができるコミュニケーション能力	作成中	5
			〃	4
			〃	3
			〃	2
			〃	1
	⑨傾聴力	相手の主張に対して心から丁寧に耳を傾けることができ、相手の主張したいことを的確に理解できるコミュニケーション能力	〃	5
			〃	4
			〃	3
			〃	2
			〃	1
	⑩柔軟性	お互いの考え方や立場等に相違点があったとしても、それらを整理して理解した上で物事を一歩前に進める方向で対応できる力。	〃	5
			〃	4
			〃	3
			〃	2
			〃	1
Ⅲ チームで働く力 （チームワーク）	⑪状況把握力	自分の立場・役割・使命等を的確に認識して、自分と周囲の人々との関係性や進行中の物事との関連性を踏まえて行動できる力	〃	5
			〃	4
			〃	3
			〃	2
			〃	1
	⑫規律性	人と人との約束事である一般社会のルール・慣習及びチームのルール・慣習等を十分理解し、それらを守った上で行動できる力	〃	5
			〃	4
			〃	3
			〃	2
			〃	1
	⑬ストレス管理能力	ストレスの解消方法を身に付けているだけでなく、ストレスそのものを自己の成長のチャンスと捉えて前向きに行動できる力	〃	5
			〃	4
			〃	3
			〃	2
			〃	1

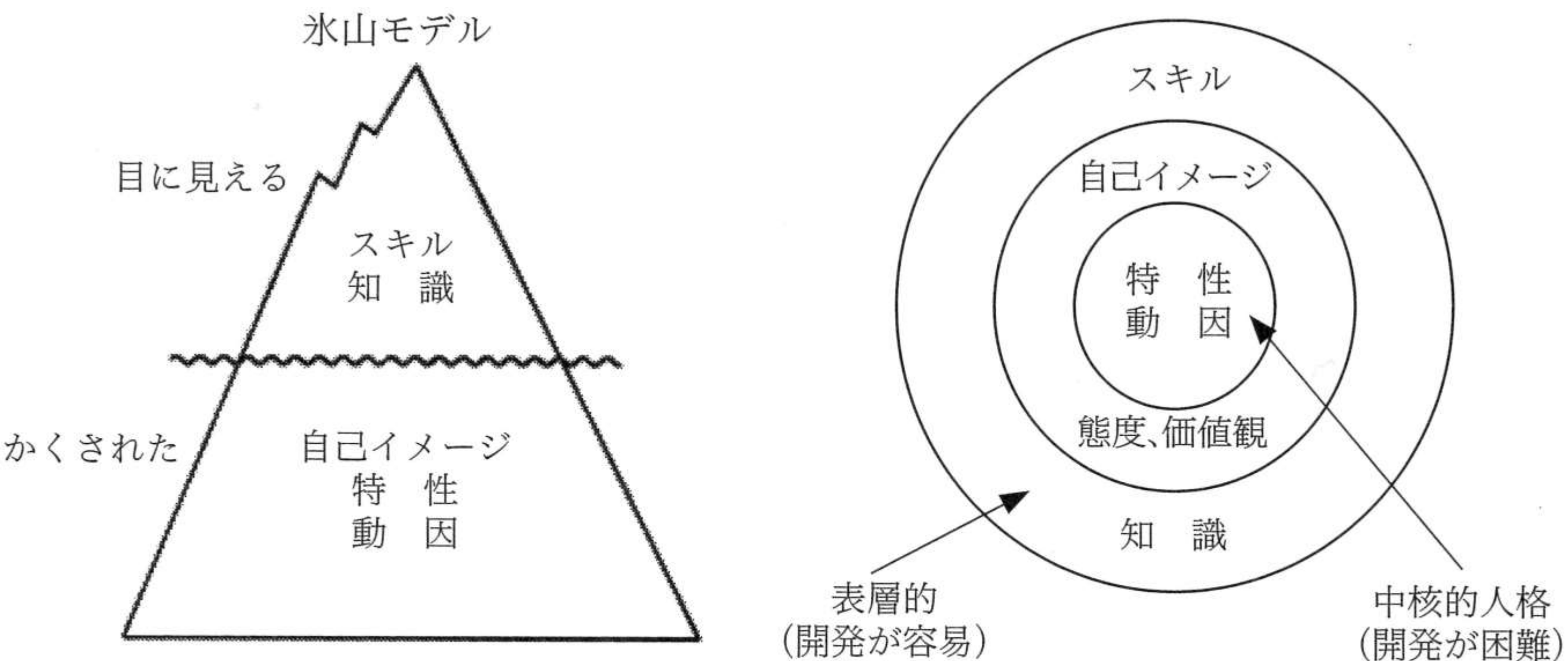


図3-1 中核と表層のコンピテンシーイメージ：氷山モデル

出典) ライル・M. スペンサー、シグネ・M. スペンサー著、梅津祐良・成田 攻・横山 哲夫訳『コンピテンシー・マネジメントの展開—導入・構築・活用』生産性出版、2001年、14頁。

安城学園教職員憲章

私たち一人ひとりが学校法人安城学園の教職員として建学の理念と建学の精神に基づいた仕事を通して「生きる意志と生きる力と生きる歓びに満ち溢れた」素晴らしい人生を送ることができるよう、ここに『安城学園教職員憲章』を定めます。

一、「誰でも無限の可能性を持っている」という創立者の信念を共有しましょう

一、家庭に温かい心、職場に新しい息吹を与えるために「真心・努力・奉仕・感謝」の四大精神を実践しましょう

一、建学の精神の実践を通して、私たち一人ひとりの潜在能力を可能性の限界まで開発しましょう

一、職場と地域社会の課題を解決するために、私たち一人ひとりのマネジメント能力を高めましょう

一、「私たちの仕事はまちづくり」をモットーに、地域の人材育成を通して「三河のまちづくり」に貢献しましょう

一、無限の可能性に挑戦できるように、知・徳・体を鍛え上げるだけでなく、社会人基礎力も鍛え上げましょう

一、建学の理念「庶民性と先見性」を実現することによって、安城学園の歴史と伝統を継承・発展させましょう

無限の可能性に挑戦

生きる意志と
生きる力と生
きる歡びに満
ち溢れた存在

社会に変化を興すことのできる地域の人材

社会の変化に適応できる地域の人材

安城学園
独自の教育
システム

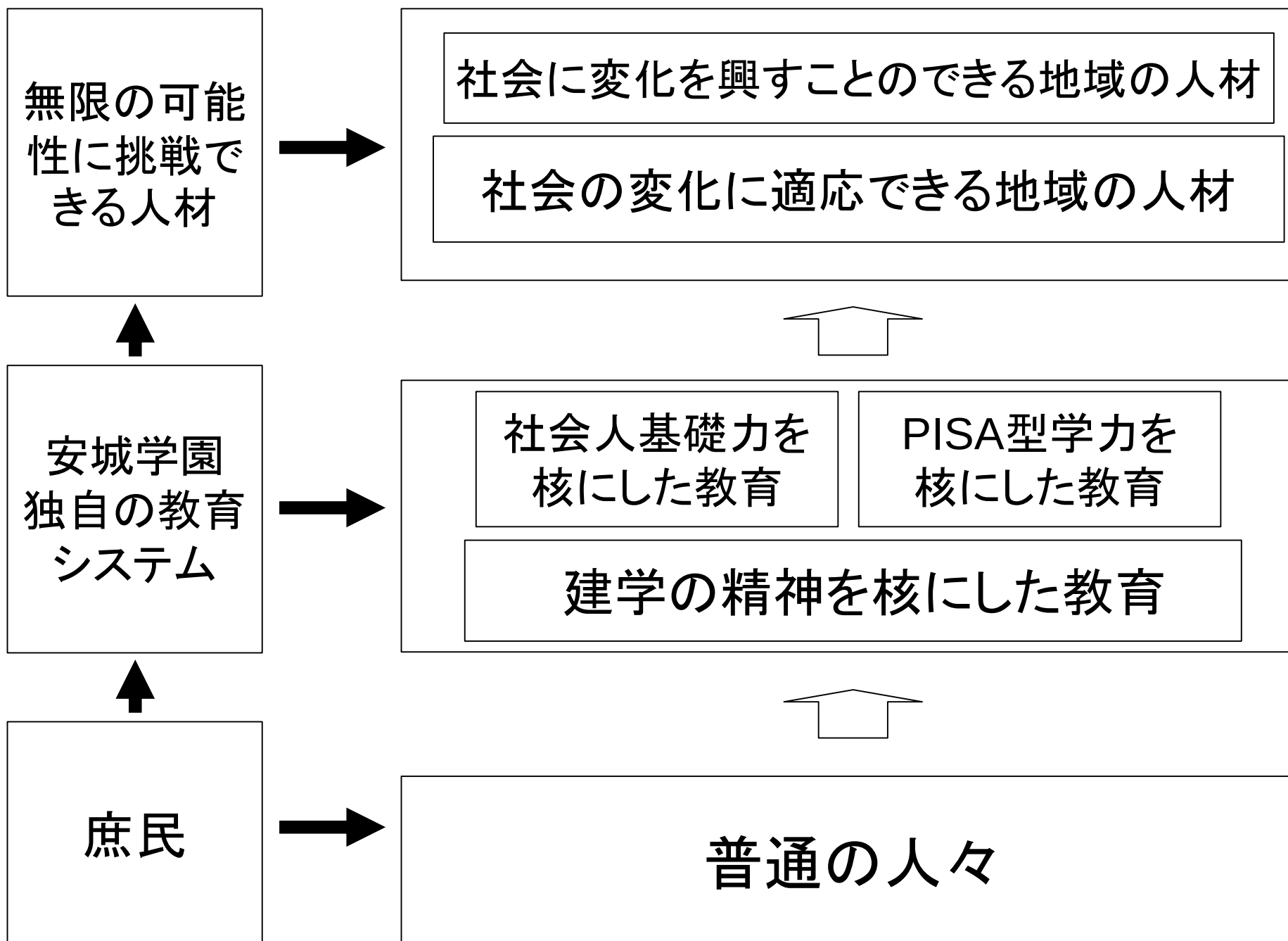
社会人基礎力を
核にした教育

PISA型学力を
核にした教育

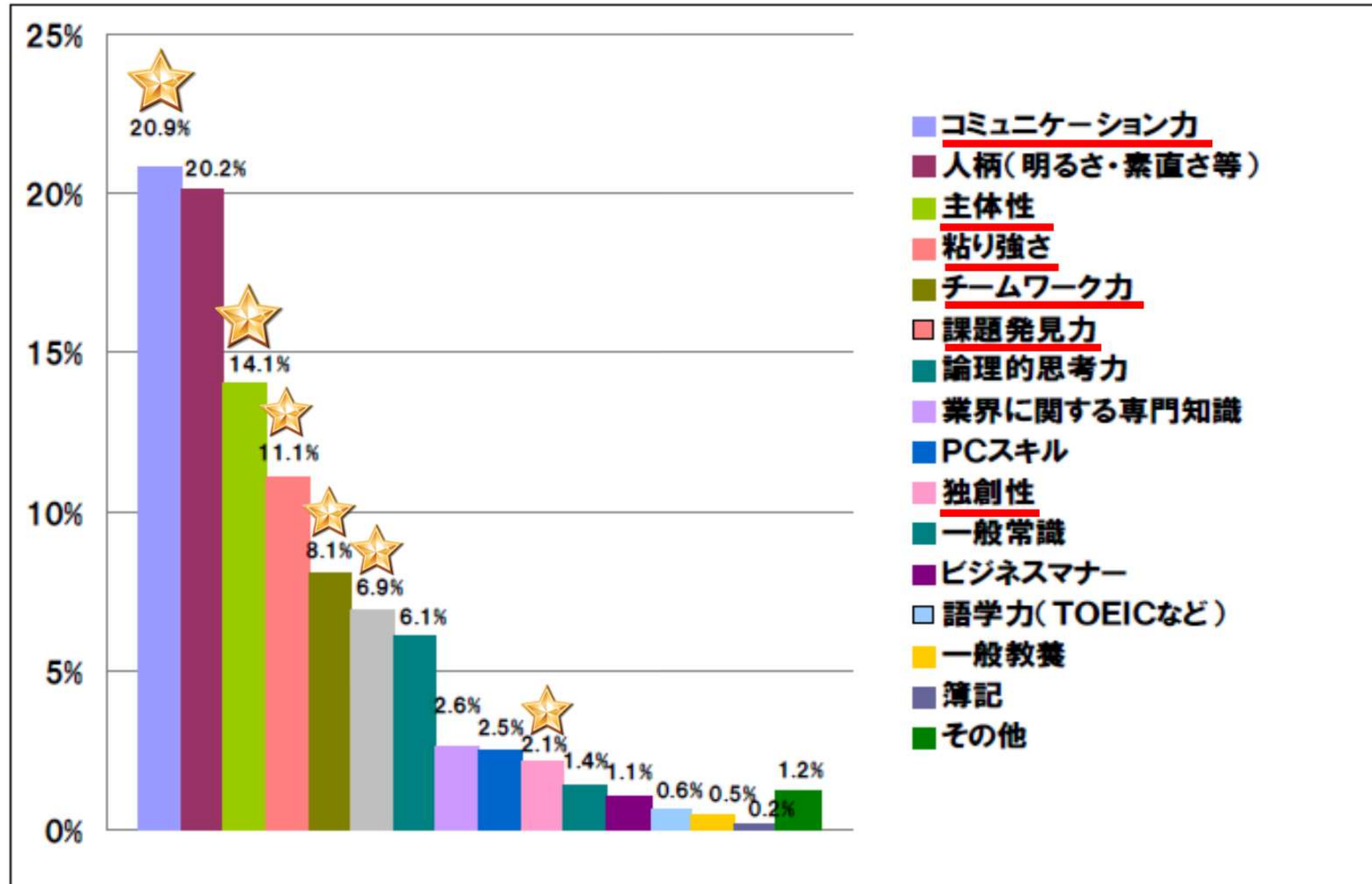
建学の精神を核にした教育

庶民

普通の人々



自社で活躍している若手人材（ハイパフォーマー）が共通して持っている能力要素【対企業】～経済産業省調査

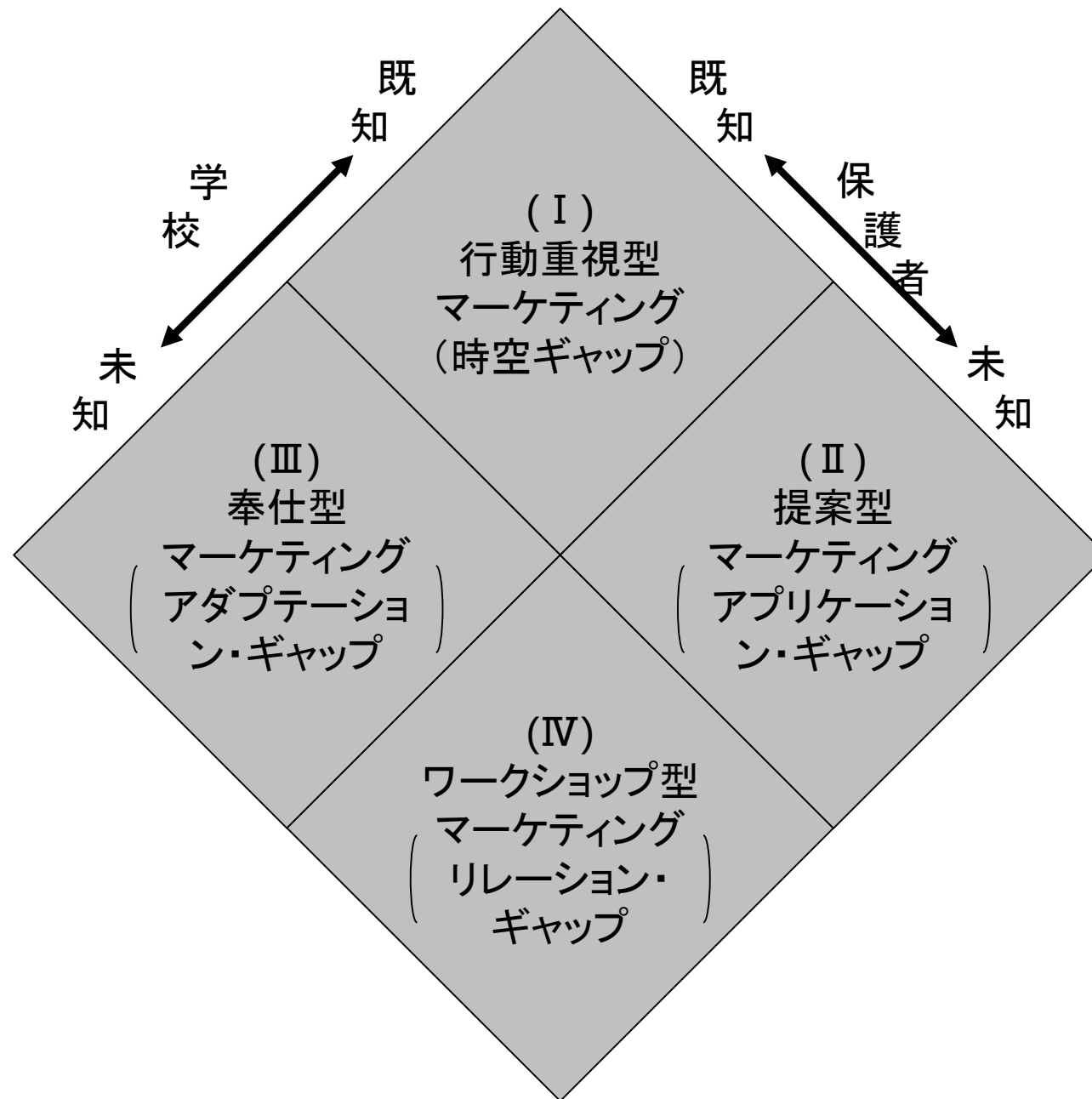


※上位3つまで回答

企業人事採用担当者

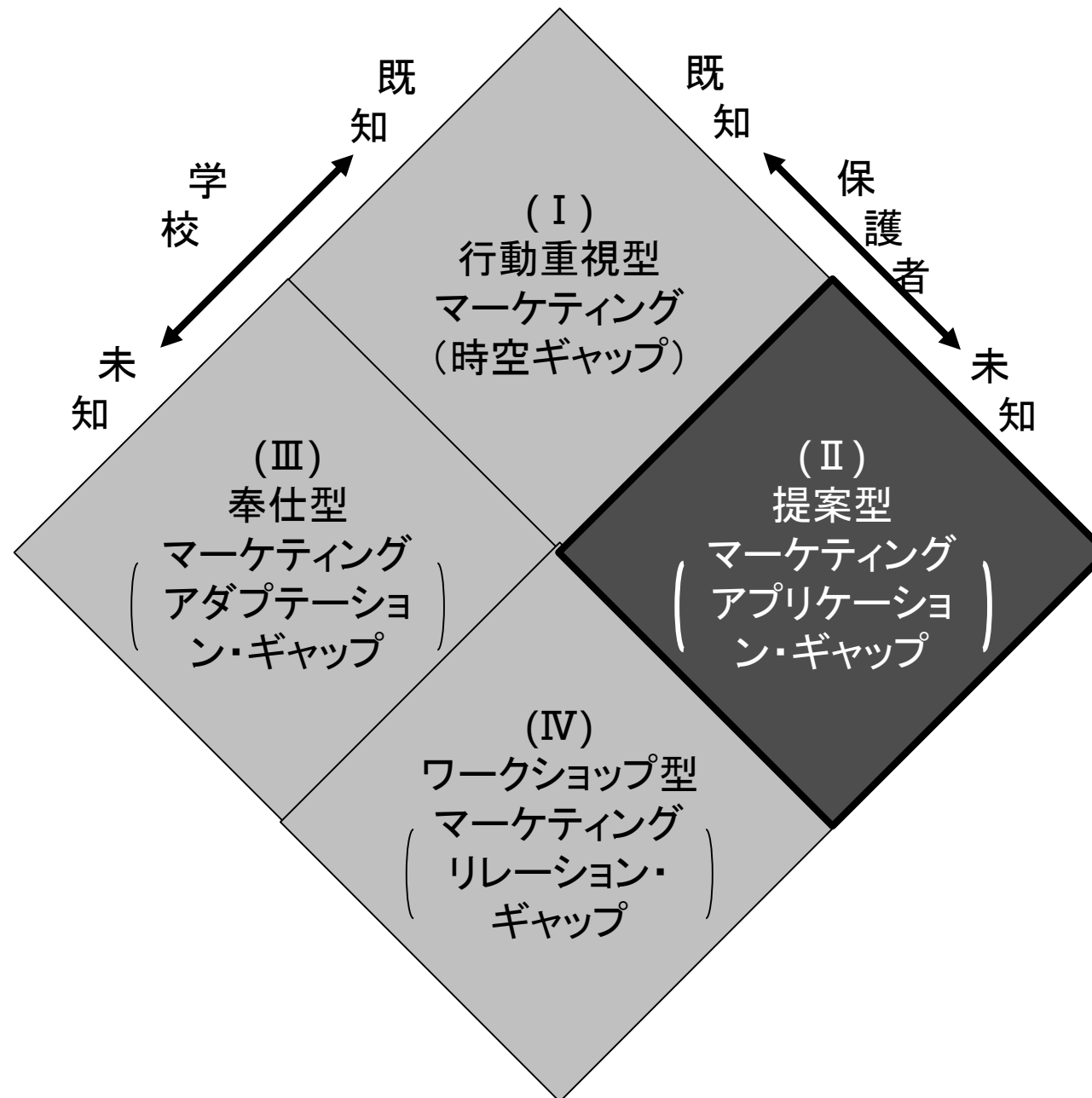
n: 3091

ソリューション満足マーケティング類型



嶋口充輝著『顧客満足型マーケティングの構図 新しい企業成長の理論を求めて』(有斐閣 1994)を参考に作成

図23 ソリューション満足度のマーケティング類型



嶋口充輝 1994『顧客満足型マーケティングの構図 新しい企業成長の理論を求めて』有斐閣

安城学園教職員憲章

私たち一人ひとりが学校法人安城学園の教職員として建学の理念と建学の精神に基づいた仕事を通して「生きる意志と生きる力と生きる喜びに満ち溢れた」素晴らしい人生を送ることができるよう、ここに『安城学園教職員憲章』を定めます。

一、「誰でも無限の可能性を持っている」という創立者の信念を共有しましょう

一、家庭に温かい心、職場に新しい息吹を与えるために「真心・努力・奉仕・感謝」の四大精神を実践しましょう

一、建学の精神の実践を通して、私たち一人ひとりの潜在能力を可能性の限界まで開発しましょう

一、職場と地域社会の課題を解決するために、私たち一人ひとりのマネジメント能力を高めましょう

一、「私たちの仕事はまちづくり」をモットーに、地域の人材育成を通して「三河のまちづくり」に貢献しましょう

一、無限の可能性に挑戦できるように、知・徳・体を鍛え上げるだけでなく、社会人基礎力も鍛え上げましょう

一、建学の理念「庶民性と先見性」を実現することによって、安城学園の歴史と伝統を継承・発展させましょう

学校法人安城学園創立一〇〇周年を記念して制定（平成二十四年十一月三十日理事会）



安城学園